小田原少年院史

光の路

目次

小田原少年院を語る　1

小田原少年院史　14

教育活動　28

歴代名簿　48

昭和２年に完成した渡り廊下。平成17年に改修され現在に至る。

光の路に凱歌あり

小田原少年院長　齊　藤　美紀雄

「富士を仰ぎて　我らゆく
　　光の路を　いざ進まん」　（院歌「光の路」）

今まさに、95年の歳月が流れた講堂に一人佇んでいると、けたたましく鳴く蝉の声の彼方から、勇ましい「院歌」の歌声が聞こえてくるように思える。

少年院としては67年の軌跡を重ね、巣立った少年たちも6000人を上回る。その一人ひとりが、過去を背負いながらも、自身の人生と対峙して、未来を切り開いていく崇高な作業の原点として、この小田原少年院はなくてはならぬ存在であった。そして、その少年たちに寄り添う教官たちもまた、間断なき情熱と慈愛が自身の使命であると心に誓いながら、ある時は厳父のごとく叱咤し、ある時は慈母のごとく変わるきっかけを待ち、祈りながら接してきたに違いない。

その昔、小田原少年院を「敬風学林」と称した時期があった。昭和30年代のことである。十年前にアルバムを整理していた時に、正門の表札に「敬風学林」の文字が刻まれた写真を見つけたことがある。「敬風学林」の名前の由来については、元院長の日下部守氏が元教誨師会会長の岸達志先生にその意味をお聞きになられた記録があり、今では確かな経緯を紐解くことはできないとしながらも、「修証義」(正法眼蔵) の中に出典を求めるとすれば、「此行持あらん身心自らも愛すべし、自らも敬うべし。」ではないかとの問答があった。「たとい、今までは無自覚の欲楽の生活にひたっていたとしても、ひとたび自覚を得て菩薩心を起こしておけば、充実した行持をなすことができるのであるから、この貴重な行持をなす、身体や心を、私たちは自ら愛し、自ら敬うべきである。」と御教示くださったと聞き及んでいる。「学林」とはその名のごとく「学校」のこと、小田原少年院の歴史とともに刻まれたこの「敬風学林」の別称は、先達の熱き思いを一気に溢れさせてくれる。

昭和37年頃　敬風学林の表札が輝く　前列中央　第３代院長　平沼 文男

自己変革を成し遂げようとするその一人ひとりの姿を、自ら愛し、自ら敬う、この精神こそが小田原少年院に脈々と受け継がれてきた「更生的風土」であり、樹齢四百年の楠に見守られながら、大地にしっかりと根を張って生きてきたのである。

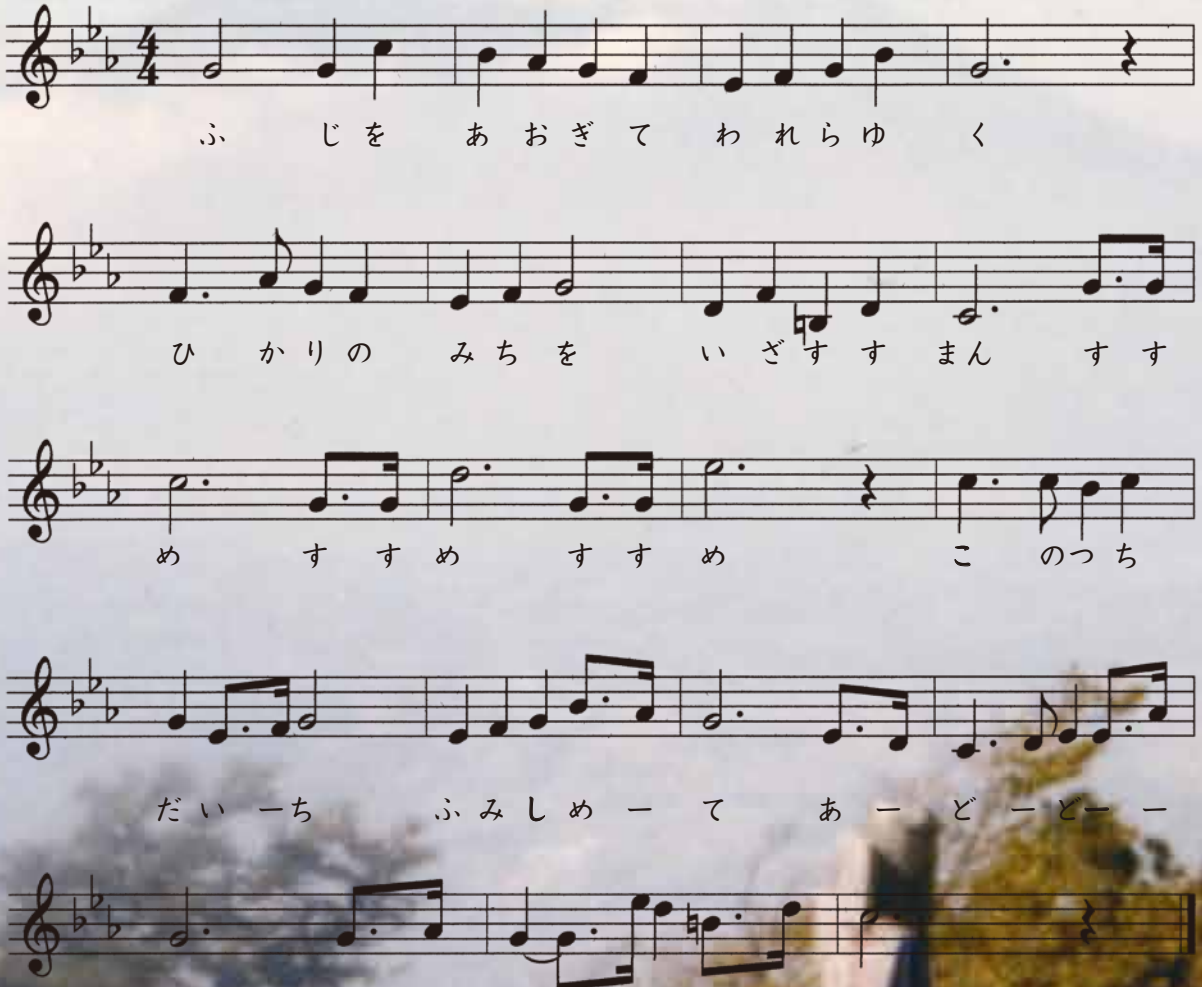
閉庁この時、「溢るる歓喜　恵みあり　嗚呼堂々と　我ら歌わん」の歌詞が心に染みる。ここに学んだ少年たちも教官たちも、そしてここに集い、教え教わった協力者の全ての皆様に、万感の思いを込めて感謝申し上げるとともに、高らかに人間教育の実践に挑み、そして歓喜の行進を堂々と進めてこられたことを共々に喜び合いたい。

小田原少年院第35代院長

院歌「光の路」

作詞：広　瀬　鋭　男
作曲：内　田　勝　也

行進曲調に



光の路

一　富士を仰ぎて我らゆく
　光の路をいざ進まん
進め　進め　進め
　この土大地踏みしめて
ああ堂々と我ら進まん

二　命尊し無限なる
　不動の心いざ励まん
励め　励め　励め
　誠の生気今ここに
ああ堂々と我ら励まん

三　汗に応えて潮の香に
　錬磨の叫びいざ歌わん
歌え　歌え　歌え
　溢るる歓喜恵みあり
ああ堂々と我ら歌わん

院歌「光の路」は、昭和39年から同42年にかけて当院の教務課長であった広瀬鋭男によって作られた。

当初は、院外作業に出かける院外班の行進曲であったが、後に院歌となり、50年以上に渡って歌い継がれた。

昭和55年頃　院外訓練 金時山登山 山頂写真　遠くにうっすら富士が望まれる。

小田原少年院を語る座談会

小田原少年院は、本年度限りをもって閉庁となります。少年院としては昭和27年開設以来67年間にも及ぶ歴史を刻み、少年一人一人に焦点を合わせた少年院教育に挑んで参りましたが、これまでの間、小田原少年院がその使命を果たすことができましたのも、ひとえに、地域の方々や協力者のおかげであると感謝いたしております。

そこで本日は、この小田原少年院に長年にわたり御尽力いただきました関係者の皆様方にお集まりいただき、小田原少年院の出来事や当時のエピソードなど、お話をお伺いしました。

平成30年7月6日　会議室（仮庁舎：平成21年建築）

《参加者》元小田原少年院教誨師会会長　岸　達志　氏
小田原少年院教誨師会会長　安藤康哉　氏
小田原少年院篤志面接委員協議会会長　志村宗男　氏
小田原少年院篤志面接委員協議会副会長　松本敦子　氏
小田原市更生保護女性会会長　磯田待子　氏
元小田原少年院長　日下部　守　氏
小田原少年院専門官　遠藤賢一　氏
小田原少年院長　齊藤美紀雄（司会）

齊　藤　：　小田原少年院長の齊藤です。本日の進行を務めさせていただきます。十年前に次長として勤務させていただきました折には、皆様には大変お世話になりました。本日はどうぞよろしくお願いします。

《昭和27年～小田原少年院開設》

齊　藤　：　さて、小田原少年院は、昭和27年に特別少年院として開設いたしました。

当時は定員210名のところ、260名という過剰収容だった時期もあり、岸先生にはその頃から現在に至るまで約60年間に渡って教誨師、そして篤志面接委員としてお関わりいただきました。ありがとうございました。当時の様子をお聞かせください。

岸　　：　小田原少年院初代、二代の院長先生は大変苦労されたようです。私が最初にお伺いした昭和33年には、院長として平沼先生（平沼文男院長：三代：Ｓ33～Ｓ40）がいらっしゃいまして、少年の数は250人ぐらい。戦後の動乱期でしたから、荒っぽい少年が数多くいました。

東泉院住職
昭和33年から60年間当院の教誨師
昭和38年から55年間当院の篤志面接委員を務める

教誨師になってまもなく、篤志面接委員のお話がありました。篤志面接委員の制度は戦後にできたので、委員のなり手がいないんですね。勉強になるから良いと思っておひきうけしました。これは生徒に講話する時も、私自身にもたいへん有益でした。

平沼先生からは、「坐禅の指導もしてくれ。」ということでした。坐禅をやる部屋を１部屋用意してくれて、非常に理解のある方でした。ただ、その平沼先生に対して周囲から「やりすぎる。」という声もあったようです。しかし軌道にのって体育少年院の指定を受けると、今度は小田原少年院の教育が有名になりました。

また、平沼先生の頃は、体育少年院として有名になってからも、有名な講師を呼ばれたり、一夜城見学や箱根神社参拝、院外奉仕活動など院外にも出しましたね。院外に出すってことは、逃走する少年もいるんですよ。行方不明になる少年が出るのに止めないんですね。少年はすぐに捕まるんですが・・・。ニュースや新聞に出た時は、「そんなことする（止めない）からダメなんだ。」という人がいるんですね。でも止めないんですね。それを一生貫いてやられた。私はそういう方と一緒にやることができたのは、教誨師として誠に誇りに思いました。

齊　藤　：　ありがとうございました。昭和34年7月には、274名になったとの記録もございます。やはり大変な時期であったと思います。一方、昭和37年には、岸先生のお話に出てきました、「体育指導実験施設」として注目を浴びました。

昭和39年10月13日　体育祭

体育指導の体系化・合理化を図り、科学的教育管理を確立すべく、平沼院長の次の院長に当たる、宗岡哲悟院長（四代：Ｓ40～Ｓ45）が「体育指導の流れについて」（論文）を発表したという記録がございました。特色ある施設運営がなされていたことが良くわかります。

《昭和39年～県更生保護婦人会の慰問（一日母親の会・誕生会）》

齊　藤　：　昭和39年頃からは、外部の協力者からの御支援も賜りました。神奈川県更生保護婦人会からは、その年の12月に面会のない少年を慰問していただき、以後毎月１回集団面接が行われ、今日まで様々な御支援を賜りました。昭和44年の夏には、伊勢原更生保護婦人会や教誨師会から少年に浴衣を、足柄下郡更生保護婦人会からは団扇を寄贈いただいております。そのほかの各地区更生保護婦人会（現更生保護女性会）からも、たびたびの御支援を賜りました。昭和55年からは、小田原市更生保護婦人会による誕生会も開かれ、現在は各地区に順番で開いていただいております。会長様、本当にありがとうございました。

昭和55年頃　一日母親の会（庁舎会議室：大正14年建築、平成21年解体）

磯　田　：　小田原市更生保護女性会の会長をやらせていただいております。磯田でございます。神奈川県西には９つの更生保護女性会がございます。そのうちの１つが小田原市の更生保護女性会で、現在170名ほどおります。全ての会員が少年院の行事に参加できるわけではありませんが、できるだけ多くの会員に参加していただこうと今までやって参りました。

小田原市更生保護女性会会長

小田原少年院の行事に「誕生会」があります。いつも誕生会のお礼状を院長先生からいただくのですが、そのお礼状を理事会の時に紹介しております。そのほか、参加した会員からも報告があり、時には涙ながらにお話をしていた会員もおりました。

私が、17年前に初めて参加したのも、誕生会でした。先輩から「大丈夫。」と言われましたが、どきどきしながら少年院の門をくぐった記憶があります。カチャと扉の鍵の音がするんですね。そして、誕生会が始まると、何を話したらいいのかと思いましたが、少年の方が話しかけてくれたりして、気を遣ってくれるのがわかりましたね。お茶やお菓子が出ましたが、少年はここでしか食べれないんですよね。おいしそうに食べていました。

平成５年頃　誕生会（第３教室：大正15年建築）

少年の名前もわからない中でも、誕生会は、少年１人１人の顔を見ながら話ができるので、本当に良い機会であったと思います。その他、更生保護女性会が参加する行事に、読書感想文発表会や体育祭等もありますが、本当にこれらの機会を１つ１つ大事にして参りました。ここで学んだことを生かしてもうちょっとがんばっていきたいと思います。

《昭和54年～院外教育活動（奉仕作業・ブラスバンド・コーラス会）》

齊　藤　：　この頃の小田原少年院は、院外指導も活発に行われ、昭和54年１月16日には、小田原城箱根口発掘調査に協力したり、ブラスバンド活動や駅伝への出場も盛んでした。昭和54年６月、箱根湯本で開催された第24回東京矯正管区管内教誨師大会の開会式で当院のブラスバンド部14名が演奏を行ったようですし、また、教誨師の先生の御紹介で、小田原城下で行われた稚児行列に出場することになったようです。その頃のことを安藤会長にお伺いしたいと思います。

昭和54年１月　小田原城箱根口発掘調査

安　藤　：　教誨師会会長の安藤でございます。昔は、小田原城下で小田原仏教会の稚児行列という花祭りがあって、そこに小田原少年院の少年ブラスバンド部が出場してくれました。当時は、教誨師として少年院に関わりを持っていて、地域に密着してこのようなことができたという印象が残っています。少年院のブラスバンド部の演奏は、周囲に驚異的な力を与えてくれたと思っています。稚児行列の一端として、ブラスバンド部が小田原城内を演奏していくと、ぶわっと人が集まってくるんです。すごかったですよ。

小田原少年院教誨師会会長
潮音寺住職
昭和48年から45年間当院の教誨師・
篤志面接委員を務める

それから、その頃私たちは、教誨師として、教務係の先生と教誨師のプログラムを作るんですが、我々自身も反省しながらやってきたんですね。それがだんだんと崩れてきたわけではありませんが、職業指導とかになっていっちゃって、今はそういうことはなくなりましたよね。でも、職員と一緒にプログラムを作成し、私自身が勉強になりました。その時に、その中の少年の一人が脱走しちゃったんですね。雨の日に。私はショックを受けちゃったんですね。私は生い立ちからいろいろ調べたりして、そんな関わりをした思い出もあります。

昭和55年頃　花祭り稚児行列（小田原城址公園）

齊　藤　：　遠藤先生も拝命当時、ブラスバンド部の引率をなされたとお聞きしましたが。

遠　藤　：　小田原少年院の遠藤です。現役職員として本日座談会に出席させていただきました。私が拝命したのが、平成元年４月で、30年間務めております。採用になって、最初の休みの日が稚児行列に出場するブラスバンド部の引率でした。お稚児さんという２歳くらいの子を後ろに控えて行列が並び、それを先導したのを覚えております。私が拝命した時にはクラブ活動がありましたので、起源はわかりませんが、小田原少年院以外でもやっているのかなと思っていたら、やはりこの活動は小田原少年院の独自のものでして、器材も揃えてコスチームも揃えていました。また、駅伝大会にも、職員と少年の混成チームが出場しました。本当に少年院は地元に親しまれ、地域でもって少年たちを育ててくださったのだと感謝しています。

小田原少年院法務教官
平成元年当院に拝命し
30年間当院に勤務

昭和55年頃　小田原地区実業団対抗駅伝競走大会

齊　藤　：　また、昭和55年７月には、「コールめんどり（小田原ママさんコーラス）」の訪問を機に、平成２年10月には、少年と交歓音楽会を開催し、小田原市更生保護婦人会会員約150名が参加されたと伺っております。篤志面接委員協議会副会長で、外部協力者としても45年にわたり御協力いただきました松本先生にお話を伺いたいと思います。

松　本　：　松本でございます。写真はブレザー姿ですが、昔は少年たちはみんな詰め襟の学生服だったんですね。合唱を見ている御婦人の方の中には、御自分の息子さんを特攻隊とかで亡くしている方がいるので、少年たちの姿を見て泣いてしまうんですね。少年たちは、自分の歌を聴いて泣いてくれるって言って一緒に泣いていました。

合唱の練習は一週間に３回やらないといけないんですよ。ですから一週間に３度お邪魔していました。

小田原少年院篤志面接委員協議会副会長
昭和55年から当院の合唱慰問・指導を行う
平成２年から28年間当院の篤志面接委員を務める

平成13年11月26日　長寿園コーラス慰問

日下部：　そうでしたね。講堂は防音設備がないでしょ。だから松本先生が歌の指導中に新幹線の音などが筒抜けでね。本当に御苦労されてましたね。

はい（笑）。合唱曲はラテン語をやっていたんですよ。アベベルムフォルクス（モーツァルト）です。３部合唱で「コールめんどり」と一緒にやったんですよ。そうすると、感激してみんな泣いちゃうんですよ。70～80人もいるんですが、歌い始めると少年たちはよそ見をしないんですよ。もう本当にね、歌って

すごいと思いましたよ。全然リハーサルないんですよ。「コールめんどり」はめんどりで練習して、「コールキャロット」はキャロットで練習して、少年たちは少年たちで練習するんですが、本番では一緒に合唱するんですよ。当日は皆、真剣で、びっくりするくらい上手でしたね。あとは中学校とかで歌ったような、大地讃頌なども歌いましたね。少年も喜ぶんですね。感動をいただきました。おかげさまで、いっぱい宝物を頂戴し持ってます。ありがとうございました。

平成18年12月22日　クリスマスコンサート（講堂：大正14年建築）

《移転問題（昭和45年～平成20年、そして平成29年》

齊　藤　：　ところで、小田原少年院の移転問題は、だいぶ古くから話題に上り、紆余曲折がありました。遡ること昭和45年、小田原市議会議員から当院の移転について、総理大臣・法務大臣へ意見書が提出され、昭和52年から平成２年までの間、四度にわたる移転候補地の提示と交渉が行われるも実現には至らなかった経緯があります。移転問題を抱えた当時の院長としては、調整等で大変な御苦労があったと思います。日下部元院長にその辺のことをお聞きしたいと思います。

日 下 部　：　私は平成３年から６年までの３年間、院長を務めさせていただきました。着任しての第一印象は建物の老朽化でした。御承知のとおり庁舎はじめ講堂、実科教室などは関東大震災のあとの大正13年、14年に建てられた木造建築で、これを大事に使用していました。職員に「どこが危険ですか」と尋ねると「院長室です」と言われて驚きましたが、これでこの施設に勤務する覚悟が定まりました。

元小田原少年院長
平成３年から同６年の３年間当院の院長を務める

当面の課題としては、昭和45年からの移転問題への対応がありました。小田原市からの移転要請は最初は拘置支所と少年院でしたが、その後拘置支所の現地改築が認められ、少年院だけが残りました。

平成２年までに、小田原市から４か所の移転候補地が提示されましたが、地元の反対運動などで頓挫していました。平成４年、国府津駅の先の橘地区の上町（カノマチ）不動台の山間部に新たな候補地の提示がありましたが、とても不便な場所で矯正局から「不適地である」と回答しました。

一方、災害の発生などの心配があり、建物の安全確保のため小田原市と市議会に対し建物の現地改築の必要を訴えてきました。

こうした不自由な環境でしたが、職員はよく頑張ってくれました。職業補導、生活指導に力を注ぎ、研究授業や研究発表も活発でした。数少ない職員でしたが一人で何役もこなし、お互いに支え合うチームワークが印象的でした。

さらに、この職員の活動を支えていただいたのが教誨師と篤志面接委員の先生方であり、地域の方々でした。

教誨師の先生方には、当時個人面接のほか週１回の宗教講話の時間を設け交代して担当していただきました。少年たちは、この講座でたくさんのことを学んでいます。

篤志面接委員の志村先生は、保護司としてご活躍中で個人指導のほか多くの行事にご参加いただきました。少年たちは「先生がなぜ煙草を吸わないのか」その理由を全員が承知しているほどでした。

松本先生にはコーラスの指導で大変お世話になりました。管内の発表会には窮屈なマイクロバスに少年たちと同乗していただき、車中で合唱練習をしながら会場の関東医療少年院へ行きました。先生は少年たちの緊張を和らげるため、御守りや新しい靴下を用意してくださいました。こうして発表会が終わると少年たちは自信を持つようになり、老人施設への慰問活動にも取り組みました。

昭和55年頃　コーラス風景（講堂：大正14年建築）

このほか篤面の活動では、画家の赤岩賢三先生から当時は珍しかった油絵の指導があり、市内のあちこちの展覧会で作品の発表ができました。また、松下康雨先生からは俳句の指導を受けました。今でも忘れられない俳句に「いれずみの出て夏シャツの袖短か」という作品がありました。この少年も教育を受け、気持ちが落ち着いてくると、自分の刺青を恥じる気持ちを持つようになったからです。少年たちへの情操教育に篤志面接委員の先生方からは大変お世話になりました。

昭和55年頃　赤岩賢三氏の絵画教室

最後になりましたが、更生保護女性会には一日母親の会、誕生会などにご出席いただき少年たちは励ましを受けました。平成４年の体育祭には会員の皆様の手作りの紅白のボール100個のご寄贈があり、玉入れ競技が盛り上がりました。その後、ある少年の親から「子どもたちが地域の皆さまからもお世話になっていることを知り、すばらしい体育祭でした」と礼状が届きました。このことも忘れられない思い出です。

齊　藤　：　ありがとうございました。その後、平成20年に私は次長で着任し、現地立て替えを行わないことの決定を報道機関や住民説明会においてアナウンスしました。あの旧庁舎の解体も、平成21年３月に行われました。惜しまれつつ一つの幕が下りたというのが実感でした。

《恒例行事（餅つき大会・盆踊り大会・運動会など）》

齊　藤　：　小田原少年院は、行事も活発でした。特に餅つき大会は、小田原少年院の伝統になりましたね。この行事の歴史は古く、その始まりは篤志面接委員協議会会長の志村様でした。昭和42年から現在まで御支援いただいていますが、当院に対しての思い入れは格別なものがあると承知しております。

小田原少年院篤志面接委員協議会会長
昭和４２年から５０年間当院の篤志面接委員を務める

志　村　：　志村でございます。小田原少年院に来るようになったのは、昭和36年に柔道指導がきっかけです。その後、篤志面接委員となり、保護司となりました。19歳の時に小田原少年院の記事があり、特別に少年院を一面の記事を使って紹介されていました。自分が実際に二十歳になって、何か支援できることはないかと考えたときに、私は煙草を吸わないので、吸ったつもりで毎月少しずつ貯金し、まだそのころは食糧事情が悪く、当時少年院の食事が大変厳しいと聞いていたものですから、貯まったお金で年に一度、お正月のお餅を暮れに持って行ったんです。それから今日まで少年院では、毎年餅つき大会を開いてくれるようになりました。

平成27年12月22日　もちつき会（道場：大正13年建築）

それと、彼らに接してみてわかるんですが、私は、生まれながらの悪人はいない。みんな同じ人間なんだ。芯から悪い人はいないんだと思っています。ちょっとしたボタンの掛け違いで少年院に入るのだと思います。

昔、「中学生の主張」として、少年院の名前を出さないで、みんなの前で発表したことがありました。新聞で良い印象を受けた覚えがあります。

それと、私は感動すると涙を流すんですけれども、小田原少年院の成人式に出席すると本当にうれしいんですよね。新成人は、「成人式は地元でやりたかった。でも人数は少ないけれども、私はここで少年や先生に囲まれてできて良かった。」と、院内で成人式を迎えたことをマイナスにするのではなく、自分自身を見直すきっかけとしている。そして自分の言葉でね、お母さんにね、そういう感謝の言葉が出る、これが一番感動しますね。毎年新聞でも紹介されています。

平成17年1月14日　成人式（講堂：大正14年建築）

本当に感謝感謝で、過去には移転問題もあったけど、今現在この小田原少年院がここにあるということに対して反対する地元人は１人もいないと思います。（涙）

齊　藤　：　ありがとうございました。最近、実務を通して感じることは、少年を取り巻く大人たちの存在が如何に重要かということです。なぜなら彼らは、そういった人たちとのまさに「出会い」によって、自身の人生をピンチからチャンスへと切り開いていく作業をしているからです。ゆえに、我々大人たちは、その「変る」きっかけを十分に用意しながら寄り添うことが大切であり、そういった意味においても、小田原少年院は、地域社会や関係機関、外部協力者とともに歩んでこられたことに感謝したいと思います。

皆々様、小田原少年院の最後の最後まで温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。

なお、小田原少年院は、今日まで本当に多くの方々からの御支援がありました。その数々の御厚情につきましては、時間の関係上この座談会では御紹介することができませんでしたが、これまで御支援いただきました関係者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

昭和３年　二宮尊徳像（小田原少年刑務所時代）

二宮尊徳（金次郎）は、江戸時代の農村改革の指導者です。逆境を努力で切り拓き、惜しみなく働き、多くの農村の救済に尽力しました。

（尊徳記念館ホームページから）

ここ小田原は尊徳生誕の地。

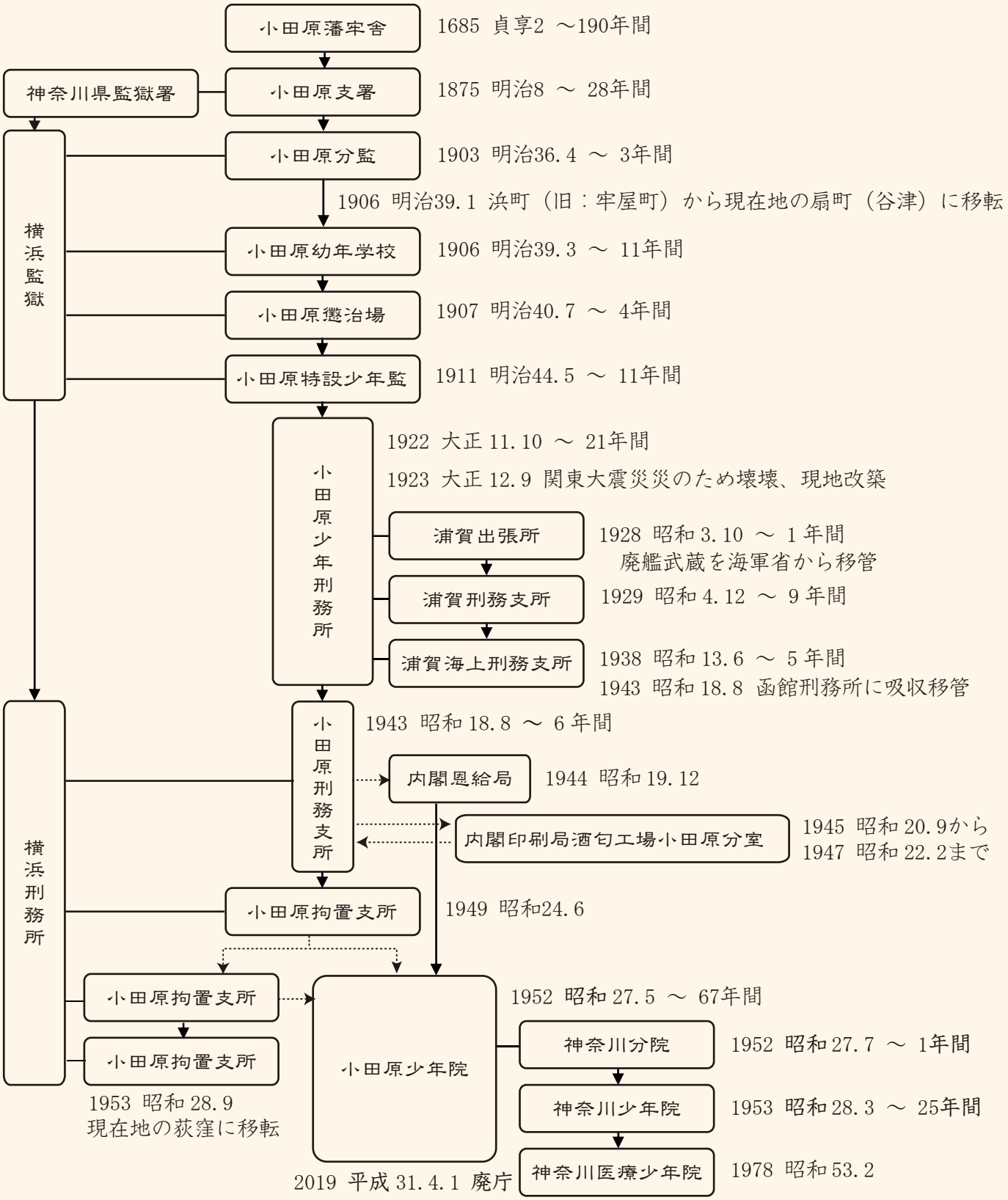
いつの時代も生徒を見守っていました。

昭和61年9月19日 当院の篤志面接委員であった栗原覚蔵氏が寄贈

小田原少年院史

庁舎　関東大震災後の大正 14 年に建築
耐震性に問題があり、多くの人に惜しまれながら平成 21 年解体された。
画　　平成 18 年　吉川　幸利
題字　平成 2 年　水井　四雄（当院 OB）

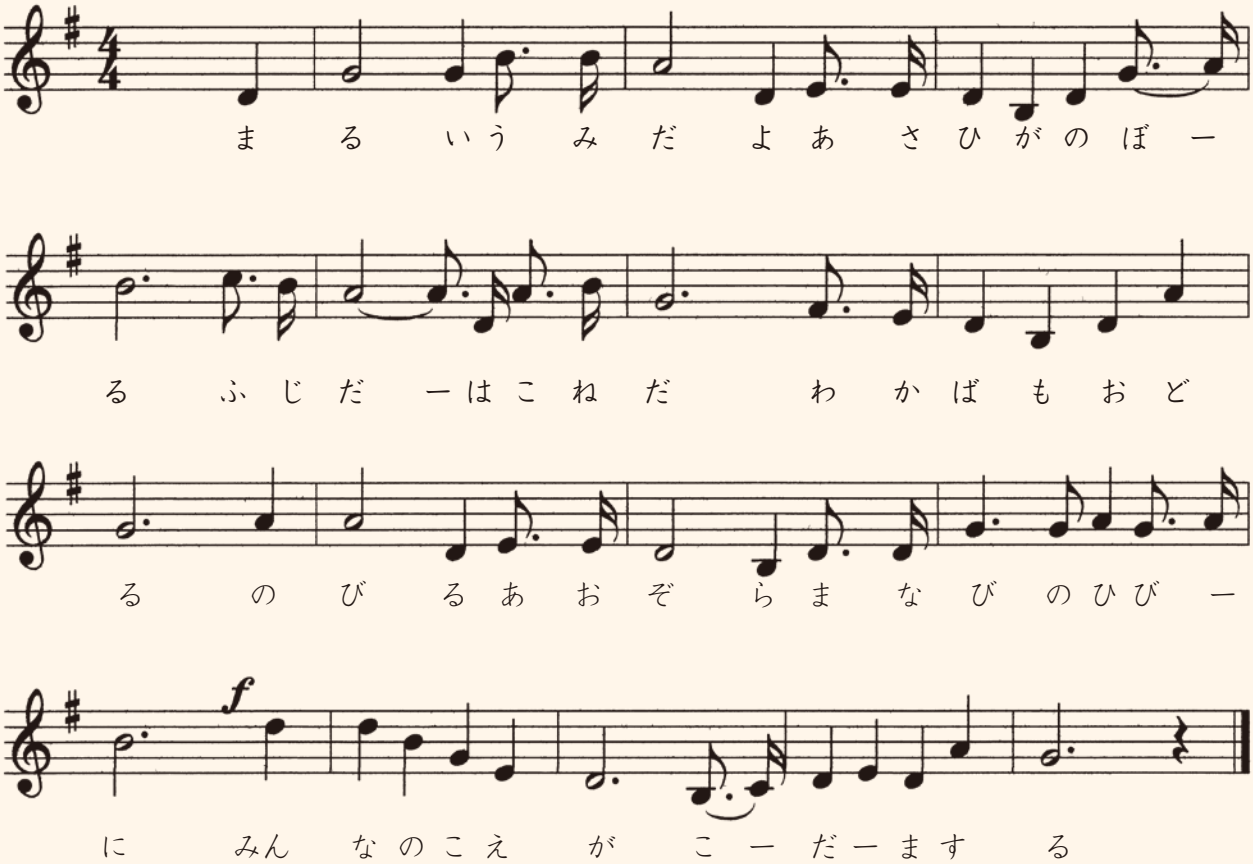
施設の変遷


小田原藩牢舎
1685 貞享2 ～190年間
神奈川県監獄署
小田原支署
1875 明治8 ～ 28年間
横浜監獄
小田原分監
1903 明治36.4 ～ 3年間
1906 明治39.1 浜町（旧：牢屋町）から現在地の扇町（谷津）に移転
小田原幼年学校
1906 明治39.3 ～ 11年間
小田原懲治場
1907 明治40.7 ～ 4年間
小田原特設少年監
1911 明治44.5 ～ 11年間
小田原少年刑務所
1922 大正11.10 ～ 21年間
1923 大正12.9 関東大震災災のため壊壊、現地改築
浦賀出張所
1928 昭和3.10 ～ 1年間
廃艦武蔵を海軍省から移管
浦賀刑務支所
1929 昭和4.12 ～ 9年間
浦賀海上刑務支所
1938 昭和13.6 ～ 5年間
1943 昭和18.8 函館刑務所に吸収移管
横浜刑務所
小田原刑務支所
1943 昭和18.8 ～ 6年間
内閣恩給局
1944 昭和19.12
内閣印刷局酒匂工場小田原分室
1945 昭和20.9から
1947 昭和22.2まで
小田原拘置支所
1949 昭和24.6
小田原拘置支所
小田原拘置支所
1953 昭和28.9
現在地の荻窪に移転
小田原少年院
1952 昭和27.5 ～ 67年間
2019 平成31.4.1 廃庁
神奈川分院
1952 昭和27.7 ～ 1年間
神奈川少年院
1953 昭和28.3 ～ 25年間
神奈川医療少年院
1978 昭和53.2

院歌「伸びる青空」

作詞：志　沢　正　躬
作曲：雨　宮　伊之助

Allegretto me non troppo 力強く



一

まるい海だよ
朝日が昇る
富士だ箱根だ
若葉もおどる
伸びる青空　学びの日々に
みんなの声が　こだまする

二

光る風だよ
小鳥を呼べば
梅に桜に
お城がはえる
白い大地だ　足踏みしめて
みんな汗して　働こう

当院開設当初小田原市内の音楽家に依頼して作られた。
昭和39年頃に「光の路」が完成し、院歌となるまで歌われていた。

小田原刑務支所

昭和21年９月12日 新幹線開業前 北部に畑が広がる。

出典：国土地理院地理空間情報ライブラリー

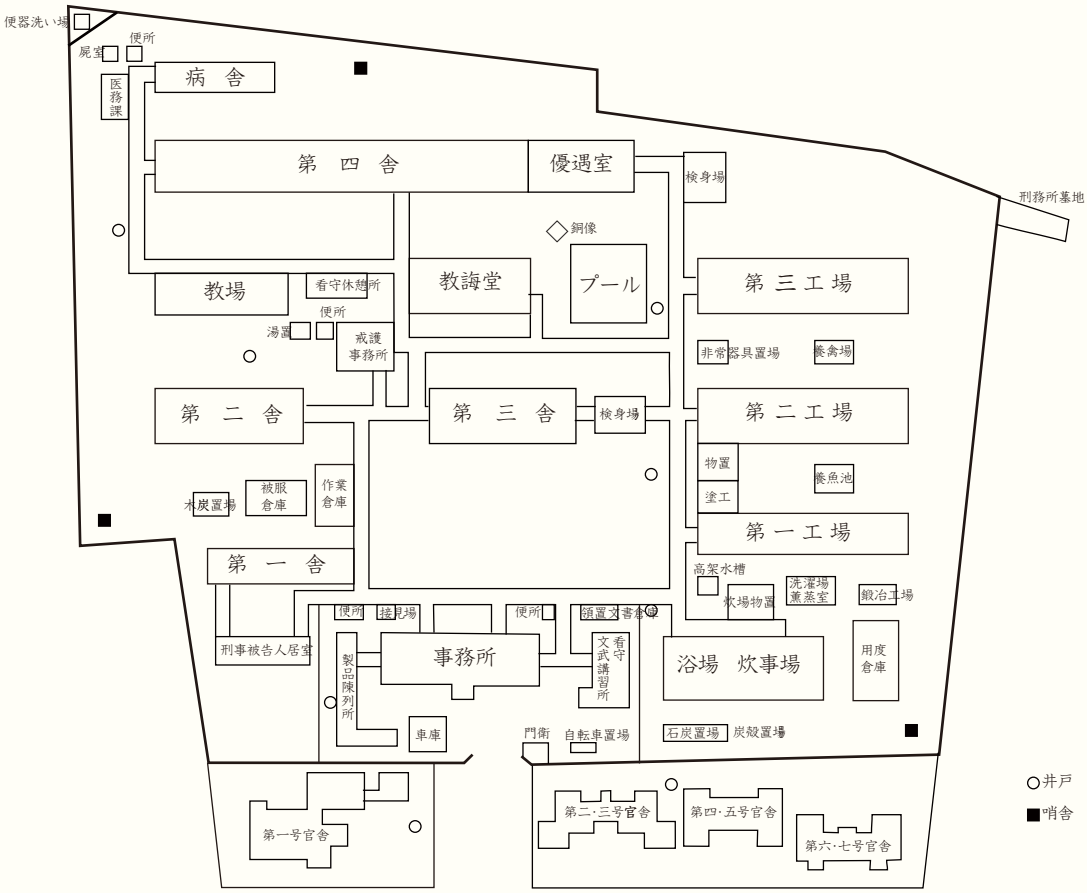
小田原少年院-小田原拘置支所

昭和27年11月22日 グランド南西部に拘置支所が見える。

出典：国土地理院地理空間情報ライブラリー

小田原刑務支所配置図

（昭和18年）



小田原少年院

昭和63年10月14日　体育祭用のトラックが見える。

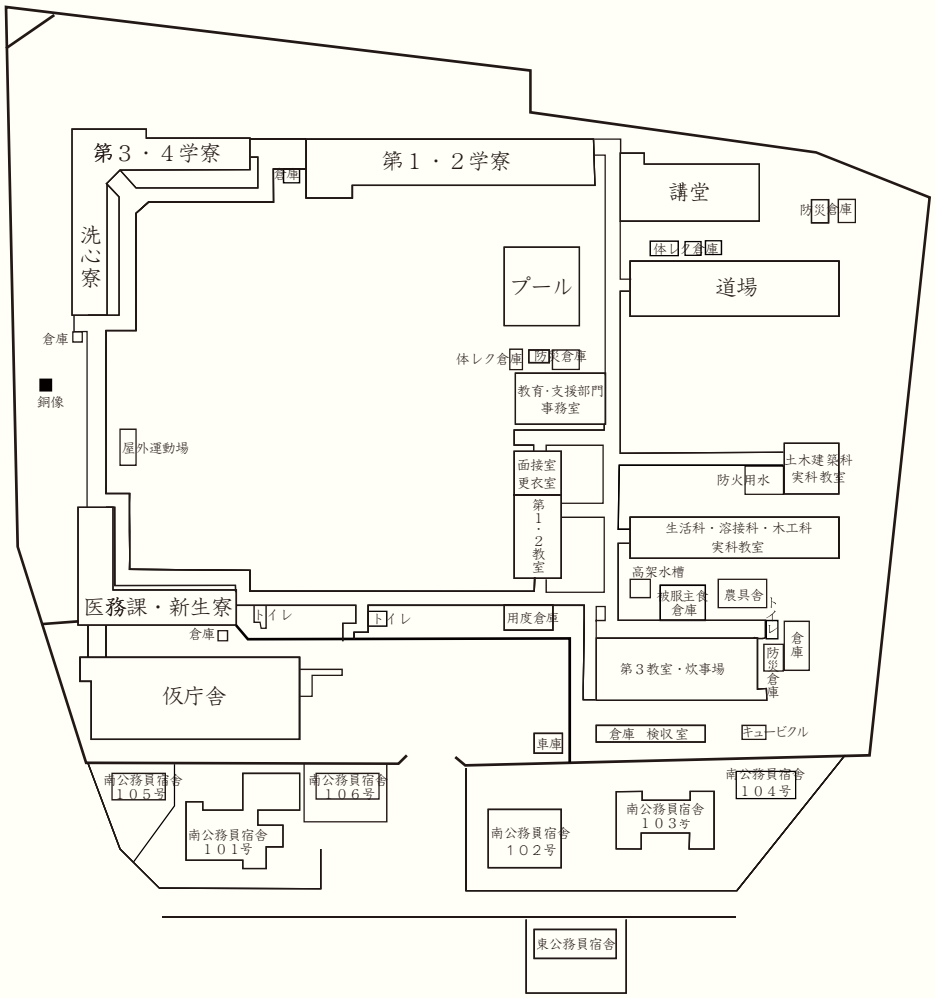
出典：国土地理院地理空間情報ライブラリー

平成30年４月28日　庁舎がなくなり駐車場となる。

出典：国土地理院地理空間情報ライブラリー

小田原少年院配置図

（平成30年）



小田原少年院の沿革

西暦	和歴		小田原少年院の動き等
1952	S27	5/1	小田原少年院設置(職員定員37名、収容区分PL級(特別少年院))
		9/	二期工事着工（新営：寮舎、渡り廊下、補修増改築：講堂、実科教室、食堂、教育・支援部門事務室等）
		9/26	収容開始
1953	S28	3/	小田原少年院神奈川分院が本院に昇格（神奈川少年院）
		7/	収容区分が18歳以上のPL級（特別少年院）に変更
		9/	小田原拘置支所が荻窪（現在地）に移転
		11/	収容定員が210名と決定
1954	S29	8/1	小田原拘置支所跡地が少年院に所管換え（現在の新生寮、グランド西半分）
1955	S30	7/	職業補導種目を整備（木工、藤工、竹工、板金、電気、造花、印刷、縫工、紙工、農耕、園芸）、予科（訓練課程）の設置
1956	S31	10/12	運動会（S39体育祭と改称し、現在まで継続）
		11/	小田原少年院篤志面接委員会を設置
1957	S32	2/6	新生寮着工
		8/5	収容区分がLA級に変更
		9/16	職員定員が47名に変更
			小田原地区実業団対抗駅伝競走大会（H4まで参加）
1958	S33	4/	収容区分がCA級に変更
1959	S34	1/22	車庫、渡り廊下完成
		4/	職員定員が49名に変更
		7/	収容定員が165名に変更
			収容人員が274名を記録
			職業補導種目を改正（木工、板金、竹工、藤工、縫工、洗濯、自転車、木彫、印刷、靴工、農耕、園芸、自営）
			平沼院長の提唱により、「修証義提唱」を軸とする精神修養道場「敬風学林」が設けられる（その後S40年頃まで「小田原青年学校」とも称した）
		9/26	台風15号（伊勢湾）被害（食堂、講堂、実科教室、事務所、官舎等）
1960	S35	1/28	寮舎水洗便所補修
1961	S36	4/1	総理府恩給局から南公務員宿舎の敷地及び建物を所管換え
		8/	成績評価を考査制から点数制に変更
			職業補導種目の藤工を廃止
			院外委嘱職業補導として箱根神社「三菊舎」に少年5名外泊外出（S37まで実施）
1962	S37	6/	収容定員が185名に変更
		8/4	国鉄新幹線工事のため南公務員宿舎の敷地の一部を用地交換（東公務員宿舎用地分）
		10/	体育指導実験施設に指定される
1963	S38	6/	職業補導種目を改正（印刷、木工、縫工、農耕、第一院外班、第二院外班、自動車訓練生、理髪生）
		8/9	富士登山外泊外出（少年5名職員4名）
		8/26	院内水泳大会（H5水泳記録会と改称し、現在まで継続）
		9/4	自弁食購入許可制実施（1級生は月2回、2級生は月1回、1回50円以内の菓子類）

S27 サンフランシスコ講和条約発効
十勝沖地震
S28 NHK放送開始
朝鮮戦争休戦協定調印
阿蘇山噴火
S29 第五福竜丸被爆

S30 森永ヒ素中毒事件
神武景気
後楽園ゆうえんちオープン
S31 日ソ国交回復
国際連合加盟

S32 昭和基地建設
アジア風邪大流行
九州南部水害
S33 東京タワー完成
フラフープ大流行
阿蘇山大爆発

S34 皇太子（明仁親王）結婚
伊勢湾台風襲来
岩戸景気
キューバ危機

S35 日米安全保障条約調印
60年安保闘争
ガガーリン初の有人宇宙飛行
小田原城天守閣再建
S36 室戸台風
ベルリンの壁構築

S37 キューバ危機
三宅島爆発
ビートルズデビュー
S38 ケネディ大統領暗殺
力道山刺殺

		11/22	少年のテレビ視聴規則を制定（第 1、2 学寮とも 1 室ずつ順番に入れていく方法で視聴）
		12/25	少年のど自慢大会（淡島謙楽団と富士屋ホテルバンド・ホワイトリリーズの慰問、S62 まで実施）
1964	S39	10/14	暁天訓練（柔道、剣道を朝 6 時 55 分から 1 時間実施） 退院・仮退院予定者箱根神社参拝開始（毎月 1、15 日）
		11/	全員遠足（工場見学、入谷津、競技場、浄水池、アジアセンター、競輪場、駅西口）
		12/2	県更生保護婦人会、面会のない少年について慰問を月 1 回実施（一日母親の会として H11 頃まで実施）
		12/12	第 3 回院内駅伝大会（H4 まで実施）
1965	S40	1/30	院内剣道大会（現在まで継続）
		4/8	全員花見遠足（水道山、相洋高校、二宮神社）
		9/1	1 級上生に長髪許可
		10/7	当院篤志面接委員総会開催、委員の組織化を図る
1966	S41	1/13	少年奉仕作業（白山中学校火災後片付け）
		7/22	院外作業中逃走（新松田→厚木→東京→上野→京都、
		7/30	無銭飲食で逮捕）
1967	S42	2/17	管内少年院長協議会を当院で開催
		3/23	彼岸法要（現在まで継続）
		3/24	寮舎居室内便所改造
1968	S43		
1969	S44	5/15	院内柔道大会
		5/29	全員徒歩外出（寿町柳下電気）
		6/15	寮舎一部改造（便所を浴室に）
		6/16	伊勢原更生保護婦人会から浴衣 34 枚寄贈
		7/19	当院教誨師会から浴衣 20 枚寄贈
1970	S45		足柄下郡更生保護婦人会から団扇 200 本寄贈（現在まで継続） MOA から毎月生け花寄贈（現在まで継続） 駒ヶ岳スケート訓練（S58 まで実施）
		4/10	新食堂使用開始
		4/23	神奈川教誨師会総会を当院で実施、食堂で少年 50 名と昼食の会食
		9/16	誕生会実施（現在まで継続）
1971	S46	1/6	ギタークラブ発足
		4/1	個別担任制導入
		5/	柳川万亀子氏柏餅寄贈（現在まで継続） 炊事生に検便実施
1972	S47	5/6	誕生会を各地区更生保護婦人会が参加する形に変更
		10/6	全国矯正職員武道大会剣道の部個人戦において、遠藤義幸教官優勝
		11/12	文化祭を「学園祭」と改称し開催
1973	S48	3/3	居室で鉢物栽培を許可 自律生に、ヘアードライヤーの使用を許可 高田良子氏毎月少年の理髪を実施（現在まで継続）
1974	S49	5/	収容人員 30 名、開設以来最低を記録
		7/15	クラブ活動種目を追加（従来のサッカー、柔道、剣道に、野球、体操、庭球、卓球を追加）

S39　東海道新幹線開業
東京オリンピック開催
経済協力開発機構（OECD）加盟

S40　アメリカ、ベトナム北爆を開始
日韓基本条約調印
中国，文化大革命
サザエさん放送開始

S41　ビートルズ来日
日本人口 1 億人突破

S42　中東戦争勃発
四日市ぜんそく公害訴訟
ASEAN 発足

S43　ソ連、チェコ侵攻
三億円事件
川端康成ノーベル文学賞受賞
小田原魚市場完成

S44　アポロ 11 号初の月面着陸成功

S45　よど号事件
三島由紀夫割腹自殺

S46　大阪万博開幕
沖縄返還協定調印
カップヌードル発売

S47　日中国交回復共同声明
浅間山荘事件

S48　オイルショック
円、変動相場制に
ドラえもん放送開始

S49　長嶋茂雄巨人軍を引退

		11/11	ギターの居室使用を許可（H18 まで実施）
1975	S50	3/3	新生寮を閉鎖
		9/1	久里浜少年院収容停止に伴い、Cb 級少年を受け入れる
1976	S51	7/15	待機室改装（ロッカー室拡張）
1977	S52	4/	少年朝礼時歌唱指導を実施
		5/	「少年院の運営について」（依命通達）が発出される
		7/8	調理教室を新設
		8/5	職業補導教育を整備（自動車組立講座、調理師実技講座、店員実技講座、土木・左官講座）
		10/28	壁画除幕式
1978	S53	1/11	収容区分変更により、収容中の 78 名全員を久里浜少年院に移送。職員も大幅な人事異動
		2/15	収容区分が AG1（初等）、BG1（中等）に変更
		2/17	神奈川医療少年院から BG1 級の少年 63 名を受入れ
		2/23	篤志面接委員志村宗男氏の好意により、院庭壁画前で受送少年歓迎の「ウサギと一緒にもちつき大会」を開催（時期を年末とし、現在まで継続）
		3/13	東泉寺清掃奉仕（H2 頃まで実施）
		3/14	早川清掃奉仕（3/25 まで連日実施）
		4/2	小田原仏教会の花祭り稚児行列に少年ブラスバンド部が賛助演奏（H12 まで実施、ブラスバンド部は、このほかにも、老人体育祭、老人クラブ、居合道大会、身体障害者スポーツ大会など、数多く賛助演奏を行った）
		4/20	ラーメン会（中華料理店幸華の好意、H12 まで実施）
		4/22	御幸が浜清掃奉仕（S55 まで実施）
		5/2	国立療養所箱根病院清掃奉仕（H11 頃まで実施）
		5/30	第 3 回小田原市美術展に少年 5 名が油絵を出展、全員入選
		7/3	意見発表会（現在まで継続）
		7/20	盂蘭盆会法要（現在まで継続）
		7/24	読書感想文発表会（現在まで継続）
		8/23	納涼盆踊り大会（現在まで継続）
		9/4	管内少年院水泳大会出場選手 10 名、県立西湘高校プールで同校水泳部員と交歓水泳会を実施
		10/31	管内少年院剣道大会全勝優勝
		11/24	小田原市議会少年院等移転等建設促進委員会は、市の意向に全員賛成し、移転促進に決定
		11/28	午前零時 40 分ころ第 1 学寮 2 室で火災発生。勤務者によって直ちに鎮火。在室の 2 名が、常夜灯を利用してちり紙に点火、洋服ダンスの中へ放火
		11/30	天理教会衣類補修奉仕（現在まで継続）
		12/12	クリスマスの集い（現在まで継続）
1979	S54	1/12	1 級上生 21 名、箱根神社へ初詣（H4 まで実施）
		1/16	小田原城箱根口発掘調査に協力（小田原教育委員会の援助要請）
		1/28	小田原地区 BBS 会主催の親善野球教室を開催（元プロ野球選手江藤慎一氏指導）
		3/30	強風により新生寮横木塀 25m倒壊、講堂等の屋根瓦約 100 平米剥離、渡り廊下約 20m倒壊寸前等多数破損
		5/4	赤岩賢三画伯による野外写生実施（少年 5 名大雄大橋付近）

S50　ベトナム戦争終結
まんが日本昔話放送開始

S51　ロッキード事件で田中角栄首相逮捕
成田空港開港

S52　王貞治ホームラン世界記録 756 号達成
日本初の静止気象衛星「ひまわり」打ち上げ
日本赤軍による日航ハイジャック事件

S53　サンシャイン 60 完成
インベーダーゲーム流行

S54　東京サミット開催
第二次オイルショック
米中国交正常化

		5/27	小田原市美術展に少年作品応募、3点入選
		6/17	西湘毎日新聞に、当院等の移転候補地、穴部地区での反対運動の記事が掲載
		6/25	小田原商工会議所主催珠算能力検定試験実施（H27まで実施）
		8/5	第31回市民総合体育会剣道の部優勝（芦子チームに窪順二教官、程田健太郎教官、松本哲教官参加）
		10/23	管内少年院剣道大会優勝
1980	S55	3/18	小田原市献血車で職員・少年の献血を実施
		4/24	午後7時頃、新生寮12室に収容中の少年が扉を破り、巡回中の松本哲教官を背後から棒で殴り逃走を図ったが、同教官に制止され、非常通報で登庁した職員により制圧された。
		6/20	小田原市美術展に少年油絵4展出品、4点とも入選
		7/7	早雲寺清掃奉仕（H2頃まで実施）
		7/17	コールめんどり約40名慰問（松本敦子篤志面接委員のコーラスグループ、コールキャロットとともに現在まで継続）
		8/16	1学寮生21名が参画した教官暴行逃走未遂事件発生。永井勉教官、望月定紀教官の適切な処置により、大過なく制圧
		9/3	午後2時40分ころ、病院草刈り現場から作業中の少年が逃走
		10/17	矯正施設対抗職員剣道新人戦3位(先鋒:永井勉、次鋒:守屋俊夫、中堅：菅野悟、副将：松本哲、大将：程田健太郎)
		10/24	管内少年院剣道大会準優勝
1981	S56	1/3	腸チフスの疑いで入院していた少年が、午前3時25分、入院先の西湘病院で逝去
		7/24	達成動機づけ訓練を導入
1982	S57	9/16	台風18号被害（国旗ポール倒壊）
		9/31	管内少年院剣道大会優勝
1983	S58	1/21	少年12名、褒章外出として箱根にスケート訓練
		2/2	午前10時30分西湘病院から逃走、午後8時15分小田原警察署により連れ戻される。
		3/14	法務省職員作品展絵画の部入選（水井四雄教官）
		7/19	市民体育大会円盤投げ、荻原泉教官44m大会新記録で県大会出場権を獲得
		9/6	管内少年院剣道大会準優勝 河本徳一氏図書費寄贈（現在まで継続）
1984	S59	3/18	戸田杯サッカー大会に少年11名出場（H26まで実施）
		7/12	一輪車競技会
		7/16	海老名高校剣道部38名を招き、親善試合を実施
		7/26	管内少年院剣道大会優勝
		7/28	管内矯正施設対抗テニス大会3位入賞
		9/16	荻原泉教官、神奈川県陸上競技大会出場し入賞
1985	S60	4/23	小田原市美術展奨励賞受賞（水井四雄教官）
		5/1	伊藤清氏ピアノの慰問演奏会（H14まで実施）
		6/9	小田原市剣道大会出場、個人戦、優勝:桑名栄一、2位:荻原泉、3位：遠藤順一、4位：石本工の各教官、団体戦4位
		7/25	管内少年院剣道大会準優勝
		10/29	管内少年院コーラス発表会に少年18名参加（H11頃まで実施）

S55　イランイラク戦争勃発
ジョンレノン銃殺
ルービックキューブ流行

S56　中国残留孤児来日
ローマ法王来日
S57　東北上越新幹線開通
ホテルニュージャパン火災
フォークランド紛争勃発

S58　大韓航空機墜落事故
東京ディズニーランド開園
三宅島大噴火

S59　グリコ森永事件

S60　日本専売公社、電電公社が民営化（JT、NTT）
日航ジャンボ機墜落事故
筑波科学万博開催

1986	S61	3/30	戸田杯サッカー大会第４位
		3/31	新入時の職業補導に陶芸科を新設
		7/8	栗原委員から二宮金次郎像寄贈
		8/12	管内少年院バレーボール大会３位
		9/19	二宮金次郎像除幕式
		10/3	管内矯正施設対抗新人戦剣道大会３位
1987	S62	7/17	管内少年院剣道大会優勝
		7/26	管内矯正施設対抗テニス大会３位
		8/6	ソーメン会（納涼食事会と改称し、H22 まで実施）
		10/9	管内矯正施設対抗新人戦剣道大会優勝（先鋒：荻原、次鋒：桑名、中堅：遠藤順、副将：鈴木清、大将：中島）
		10/29	管内少年院コーラス発表会銀賞
		11/26	収穫祭（H26 まで実施）
		12/20	小田原矯正展（H12 まで実施）
		12/27	道場窓枠アルミサッシに改修
1988	S63	2/2	寮舎塗装実施（自営）
		3/18	矯正協会創立 100 周年記念式典を当院にて実施
		5/12	1、2 学寮物干しアングル取付け
		7/17	小田原市剣道連盟剣道大会団体戦の部準優勝
		8/6	群発地震のため、就寝時防災ずきんを枕元に準備（ヘルメットに変更し現在まで継続）
		10/28	管内少年院コーラス発表会銀賞
		11/19	玉ねぎの会コーラス慰問
		11/22	考査寮防水工事
1989	H1	4/	法務教官採用試験の新設
		5/15	院内サッカー大会（現在まで継続）
		6/11	小田原市剣道連盟剣道大会団体戦の部優勝（職員チーム）
		7/	伊豆半島東方沖地震繰り返す
		9/24	小田原市官公庁野球大会準々決勝で惜敗
		10/29	会議室建具改修
		12/6	庁舎屋根改修
1990	H2	1/20	英会話教室開講（デビット・ヒュースナー氏）
		1/31	法務省職員芸術展絵画の部法務大臣賞受賞（水井四雄教官）
		2/5	非常ベル全面改修
		7/12	管内少年院剣道大会優勝
		10/22	小田原駅西口周辺清掃奉仕（H11 頃まで実施）
		10/23	長寿園コーラス慰問（H11 頃まで実施）
		10/27	小田原市中学校意見発表会に少年出場 沖元子氏図書費寄贈（現在まで継続）
1991	H3	3/20	洗心寮１室に視察用カメラ設置
		4/10	観桜会（H21 まで実施）
		7/11	管内少年院剣道大会準優勝
		7/14	管内矯正関係機関対抗軟式野球大会神奈川地区予選優勝
		10/17	管内少年院コーラス発表会銀賞
1992	H4	1/13	成人式（現在まで継続）
		1/14	凧あげ大会（H5 まで実施）
		2/14	庁舎二階（院長室）窓枠アルミサッシ改修
		3/17	全国法務省職員作品展示会絵画の部入選（遠藤順一教官）

S61　三宅島噴火、全島民避難
チェルノブイリ原発事故

S62　国鉄分割民営化（JR）
世界同時株安（ブラックマンデー）

S63　青函トンネル開通
瀬戸大橋開通
東京ドーム完成

S64　昭和天皇崩御

H1　中国天安門事件
ベルリンの壁崩壊
手塚治虫、美空ひばり他界
消費税３%開始

H2　雲仙普賢岳大噴火
東西ドイツ統一
H3　バブル経済崩壊
湾岸戦争勃発
ソビエト連邦崩壊

H4　岩崎恭子最年少金メダル（バルセロナ五輪）
毛利衛、スペースシャトル搭乗
ボスニア内戦勃発

		9/4	小田原市、新しい移転候補地を文書で提示（上町地区）
		10/17	小田原市官公庁野球大会準優勝
		12/18	小田原拘置支所落成式
1993	H5	3/18	レクリエーション大会（H7 まで実施）
		3/25	収容区分変更、G2 の一部を収容開始
		9/1	収容区分が生活指導課程（G1）から職業能力開発課程（V2）に変更
1994	H6	6/12	小田原市剣道連盟剣道大会団体戦の部第 3 位
		7/1	暁技能訓練所が神奈川労働基準局長からガス溶接技能講習指定教習機関に指定される
		9/1	土木建築科発足
1995	H7	10/	小田急線側壁画完成
		10/31	管内少年院コーラス発表会、ビデオ審査となる（小田原市中央公民館で録画）
		11/9	コーラスの集い（クリスマスコンサートと改称し、現在まで継続）
		12/19	LAN 回線敷設
1996	H8	7/6	管内矯正施設対抗テニス大会第 3 位
		9/22	台風 17 号被害（教育部門屋根ほか）
1997	H9	2/25	保安無事故表彰（通算 10 年）
		10/13	土木建築科実習中少年 1 名逃走、3 日後に通報により身柄確保
		11/8	管内矯正職員サッカー大会Ｂブロック 2 位
1998	H10	2/3	居室畳表替（横浜刑の共助）
		4/30	構内緑フェンス等の設置完了
		5/14	卓球大会
1999	H11	1/31	戸田杯サッカー大会準決勝 PK 戦で惜敗
		2/25	院内カラオケ大会
		5/29	小田原矯正展（この年から小田原アリーナにて開催）
		7/1	寮舎収容基準改正（資質別から処遇段階別へ）
		7/21	寮舎、外塀等塗装工事（自営、H12.08 まで継続）
		9/21	管内矯正施設対抗新人戦剣道大会決勝リーグ進出
		11/6	湘風祭～小田原少年院展～を実施
		12/14	全国法務省職員作品展示会絵画の部事務次官賞受賞（菅野悟教官）
2000	H12	3/31	女子トイレ設置
		12/2	湘風祭～小田原少年院展～（これが最後となる） 藤澤慶子氏あられ寄贈（元保護司、現在まで継続）
2001	H13	9/30	庁舎建具アルミサッシ化
		11/26	全国法務省職員作品展示会絵画の部法務大臣賞受賞（菅野悟教官）
2002	H14	3/20	寮舎居室内洗面台設置
		3/29	矯正実務奨励賞受賞「処遇効果の検証と再非行因子の探求Ⅲ（鈴木高弘教官ほか 2 名）」
		5/1	創立 50 周年記念日
		6/2	小田原市剣道連盟剣道大会団体戦の部第 3 位
		7/4	管内少年院剣道大会第 3 位
		9/24	寮舎居室内建具アルミサッシ化
		11/11	全国法務省職員作品展示会絵画の部特別賞受賞（菅野悟教官）

H5　北海道西南沖地震発生
サッカーＪリーグ開幕
冷夏により米が不作

H6　三陸沖地震発生
松本サリン事件
関西国際空港開港

H7　阪神淡路大震災
地下鉄サリン事件
西湘バイパス延長工事完成
Windows95 発売

H8　「O-157」による集団食中毒発生
携帯電話普及

H9　消費税 5％導入
香港が中国に返還
山一証券倒産

H10　長野冬季五輪開催
明石海峡大橋開通
和歌山毒物カレー事件

H11　EU、ユーロ導入
東海村核燃料臨界事故

H12　沖縄サミット開催
西鉄バスジャック事件

H13　ニューヨーク同時多発テロ
大阪 USJ 開園
狂牛病問題発生

H14　北朝鮮拉致被害者帰国
日韓ワールドカップ開催

2003	H15	6/12	マイクロバス更新（三菱ふそう）
		11/19	金時山登山
		11/25	剣道場床改修
			須藤幸春氏、真弓氏お菓子等寄贈（現在まで継続）
2004	H16	2/2	単独室、トイレ、洗面台改修
		11/1	第１・２・３学寮等建具等改修工事及び渡廊下改修工事
			片山徒有氏講座（講演を含め現在まで継続）
2005	H17	2/1	乗用車更新（マツダ）
		7/21	管内少年院剣道大会優勝
		11/16	大型洗濯脱水機設置
2006	H18	1/24	講堂エアコン設置
		2/17	大型衣類乾燥機設置
		3/3	寮舎廊下カーペット張り替え
		9/30	収容定員が 127 名から 118 名に変更
		12/4	居室内における不必要な会話の制限開始
			田中（重田）さゆり氏講座（現在まで継続）
2007	H19	7/6	クラブ発表会
		12/19	寮舎通行扉改修
2008	H20	2/22	クラブ発表会
		3/28	家族参観
		8/18	朗読会（H26 まで実施）
		9/12	仮庁舎新営開始
		10/16	市に対し移転問題説明
		12/15	改正少年法施行
2009	H21	1/28	いのちの授業（H23 まで年５回程度実施）
		2/14	湘南ベルマーレサッカー教室（現在まで継続）
		2/22	仮庁舎へ引っ越し
		2/27	庁舎解体
		3/25	仮設塀完成
		4/1	「生活のしおり」「生活の要領」を指示化し導入
		8/4	納涼食事会にて食中毒発生（在院生 57 人、職員等 15 人が食中毒症状）
		10/31	小田原友の会（小田原少年院 OB 会）解散
		11/20	新型インフルエンザ予防対策物品購入（各教室エアコン設置）
		12/10	もちつき会にて小田原更生保護女性会会員１名負傷、救急搬送
2010	H22	2/4	当直室模様替
		3/23	大型洗濯脱水機、乾燥機増設
		9/8	台風９号により炊事場床上浸水等被害
		12/14	教育部門屋根改修
		12/20	炊場床改修
2011	H23	1/21	焼却炉撤去
		2/21	居室液晶テレビ化
		9/21	台風 15 号により仮設塀が傾斜、小型車両系建設機械を用いて倒壊を防ぐ。道場横の桜、教育東側の檜なども被害
		10/17	倒木樹木緊急撤去
		11/7	募集参観

H15　地上デジタル放送開始
イラク戦争勃発
H16　新潟中越沖地震
自衛隊イラク派遣
H17　中部国際空港開港
愛知万博開催
小田原駅東西自由通路

H18　北朝鮮、核実験を強行
北朝鮮、弾道ミサイル７発日本海に向け発射
第１回 WBC 開催、日本優勝

H19　新潟県中越地震
白鵬第 69 代横綱
iPhone 発売
H20　リーマンショック金融危機
北島康介史上初連続２冠（北京オリンピック）

H21　新型インフルエンザ流行
裁判員制度開始
小田原市動物園ウメ子亡くなる
H22　尖閣諸島中国船衝突事件
惑星探査機「はやぶさ」７年ぶり帰還

H23　東日本大震災
福島第１原発事故発生
「アラブの春」広がる
中国 GDP 日本を抜く
スティーブジョブス死去

2012	H24	1/7	家族参観
		1/11	宿舎新営
		2/29	楠、銀杏せん定
		3/16	合唱祭
		6/19	台風４号により仮設塀が一部傾斜
		8/11	管内矯正関係機関対抗軟式野球大会準優勝
2013	H25	2/25	募集参観
		2/27	道場網戸取り付け
		3/6	分類事務室を教育部門事務室内に移転
		3/7	高橋努氏講座（漫画家、現在まで継続）
		5/21	マイクロバス更新（三菱ふそう）
		11/5	仮設塀補強
		11/27	募集参観
		12/17	大型乾燥機増設
2014	H26	1/21	実科教室棟屋根葺き替え
		6/20	４学寮ホールエアコン設置
		11/16	募集参観
		11/23	管内矯正関係機関対抗軟式野球大会優勝
2015	H27	2/18	屋外運動場設置
		2/20	生命のメッセージ展
		3/3	法教育（東京大学法科大学院）
		6/1	改正少年院法施行、これに伴い収容区分が社会適応課程Ⅰ（A1）と支援教育課程Ⅲ（N3）となる
		6/25	中間期寮ホールエアコン整備
		8/27	小田原警察署職員合同剣道練習
		10/21	第３・４学寮洗面台更新
		11/10	寮廊下カーペット更新
		11/29	募集参観
2016	H28	1/12	面接室増設
		1/12	第３学寮浴場改修
		1/27	居室畳表替え
		2/1	寮舎屋上防水シート修繕
		2/2	中間期集団室トイレ洋式化
		2/23	手錠使用検定
		3/11	法教育
		11/28	第３・４学寮トイレ洋式化
2017	H29	1/14	家族参観
		2/6	布団干し場新設
		4/1	職員定員が47名に変更
		6/19	洗心寮ホールエアコン設置
		10/27	管区長表彰（青木一如教官）
		11/25	募集参観
		12/6	矯正局長表彰（青木一如教官）大雄山線緑町駅ホームにおいて高齢の女性から声を掛けられ、同女性が詐欺に遭っていることを看破し、交番まで案内して被害を未然防止した。
		12/11	もちつき会
		12/16	管内矯正施設対抗バドミントン大会
		12/19	クリスマス会
		12/22	クリスマスコンサート

H24　東京スカイツリー竣工
金正恩，朝鮮労働党第１書記に就任
山中伸弥教授ノーベル医学生理学賞受賞（iPS細胞）

H25　国の借金が1000兆円を超える
楽天、シリーズ優勝（星野仙一監督）、田中将大21勝

H26　消費税８％に増税
IS（イスラム国）国家樹立を宣言
羽生結弦金メダル（ソチ五輪）
「笑っていいとも！」放送終了

H27　パリ同時多発テロ
寝台特急ブルートレイン廃止

H28　天皇、退位の意向を示唆
選挙年齢18歳に引き下げ
SMAP解散

H29　ドナルドトランプ、アメリカ大統領に就任
将棋、藤井聡太四段29連勝
ジャイアントパンダ「シャンシャン」誕生

2018	H30	1/10	貨物コンテナ倉庫撤去処分
		1/11	溶接科火災発生、有江崇迪教官の適切な消火により大事に至らず
		1/19	成人式
		1/25	誕生会（大磯地区更生保護女性会）
		1/29	溶接科防火シート設置
		2/1	敷地西側側道部分閉鎖措置
		2/7	表門前郵便ポスト撤去
		2/15	誕生会（足柄上地区更生保護女性会）
		3/1	社会見学（県立生命の星地球博物館）
		3/13	春の彼岸法要
		3/20	誕生会（足柄下地区更生保護女性会）
		3/23	院内サッカー大会
		4/1	職員定員が46名に変更
		4/12	花祭り
		4/27	誕生会（伊勢原市更生保護女性会）
		5/11	陸上記録会
		5/31	誕生会（平塚地区更生保護女性会）
		6/13	天理教奉仕活動
		6/29	誕生会（小田原市更生保護女性会）
		7/9	体育祭
		7/24	誕生会（南足柄地区更生保護女性会）
		7/26	盆踊り大会
		7/30	盂蘭盆会法要
		8/1	高橋ツトム氏講座
		8/2.3	高校卒業程度認定試験
		8/7	社会見学（尊徳記念館）
		8/31	誕生会（厚木愛甲地区更生保護女性会）
		9/7	水泳記録会
		9/8	管内矯正施設対抗駅伝大会
		9/10	音楽会
		9/11	読書感想文発表会
		9/12	社会見学（小田原市水道局高田浄水場）
		9/14	管内矯正施設対抗新人戦剣道試合
		9/20	意見発表会
		9/26	日本矯正教育学会
		9/27	秋の彼岸法要
		9/28	誕生会（秦野地区更生保護女性会）
		10/1	重田さゆり氏講座
		10/3	社会貢献活動（大稲荷神社清掃）
		10/4	総合防災訓練
		10/11	視察委員会
			マインドフルネス講座
		10/18	研究授業
		10/19	日本漢字能力検定試験
		10/25	誕生会（大磯地区更生保護女性会）
		10/27	住民説明会
		11/15	閉庁式
2019	H31	3/31	収容業務停止
		4/1	廃庁

大樹の風

小田原少年院史

学科教室横の楠は、樹齢400年を超えるといわれ、当院が設置される遥か以前からこの場所にある。
「大樹の風」は、生徒が自分自身の成長を記録するノートの題名として長く使われてきた。

昭和39年頃　器械体操

昭和39年頃　柔道訓練

体育

小田原少年院は昭和 37 年体育指導実験施以降、体育指導による矯正教育は、小田原

昭和39年頃　相撲稽古

昭和61年頃　一輪車

昭和40年10月　スポーツ大会　バレーボール

昭和40年10月　スポーツ大会　バスケットボール

設に指定された。
少年院の伝統となる。

平成8年頃　朝のラジオ体操

かつては小田原城まで走った
平成30年５月　陸上記録会

昭和29年８月、小田原拘置支所跡地が小田原少年院に所管換えとなり、現在のグランドが完成した。

音楽

小田原少年院では、ブラスバンド
音楽は情操教育の中心を担い、

ブラスバンドの活動の歴史は古い
昭和39年頃

昭和39年頃　コーラス指導

数多くの賛助演奏を行った
昭和60年頃　老人体育祭

ブラスバンドの音で人が集まった
昭和61年4月　花祭り　稚児行列

とコーラス活動を中心に多くの音楽活動が行われた。
演奏会も数多く催された。

男声コーラスが感動を呼ぶ
平成13年11月　長寿園コーラス慰問

最後は全員での大合唱
平成27年12月　クリスマスコンサート

昭和62年７月　管内少年院剣道大会

平成５年12月　小田原矯正展

平成８年頃４月、小田原少年院ブラスバンドは小田原城址公園を巡る花祭り稚児行列の先導を行った。

講堂

体育館のない小田原少年院では、講堂は
雨天朝礼、進級式をはじめ、各種発表会、

すべての生徒の進級を見守っていた
平成20年8月　進級式

昭和55年頃　読書感想文発表会

唯一全員が集まれる室内空間であった。
宗教行事、様々な講演会が行われた。

昭和27年　開庁式

春・秋の彼岸法要、盂蘭盆会法要が営まれた
昭和61年頃　彼岸法要

数多くの教会関係者とともに祝った
平成29年12月　クリスマス会

昭和60年頃　意見発表会

新成人が誓いを述べた
平成16年1月　成人式

関東大震災の後、大正15年に建てられた講堂。天井の装飾は見事であった。

外出

ここ小田原は、富士箱根伊豆
褒賞・殊遇外出などとして、

昭和43年　二宮尊徳生家遠足

昭和61年　富士登山

平成15年11月　金時山登山

院外訓練　スケート教室
昭和55年頃　駒ヶ岳スケートセンター

褒賞外出　鎌倉方面
昭和55年5月　高徳院

小田原城の天守閣は、昭和35年に小田原市の市制20周年記念事業として

国立公園に近く、社会見学や
近隣の多くの場所を訪れた。

遠足
平成元年頃　真鶴半島三ツ石海岸

社会見学　箱根周遊
平成８年頃　大涌谷

殊遇外出　箱根周遊
平成14年７月　箱根恩賜公園

社会見学
平成30年３月　県立生命の星地球博物館

社会見学
平成30年４月　小田原市水道局高田浄水場

復興された小田原のシンボル。天守の最上階からは，相模湾はもちろん，小田原少年院も望むことができる。

授業

小田原少年院では、自分と向き合い成長する
今まで知らなかった自分を知り、大きく羽ば

年代不詳　英会話教室

平成８年頃　ソーシャルスキルトレーニング

平成８年頃　俳句教室（松下康太郎氏）

平成８年頃　書道教室（井上善介氏）

過程の中で、多くの大人や仲間の力を借りることができる。
たいていく。

生きるとは
平成30年7月　田中（重田）さゆり氏

マインドフルネス
平成30年7月　山口伊久子氏

平成30年６月　特定生活指導（財産問題）

平成30年８月　進路指導

昭和２年に建築された学科教室。更衣室や面接室に細分されながら、当院の数少ない教室として活用された。

昭和40年頃　はつ花そば

昭和45年　外国人参観

昭和49年2月 小田原地区実業団対抗駅伝競走大会

珠算検定
昭和55年頃　小田原箱根商工会議所

平成15年2月　戸田杯サッカー大会

小田原矯正展は、平成11月年に小田原アリーナで開催されるまで、

地域

古くからの城下町にある小田原少年院は、
教育活動の様々な場面で、地域に支えられてきた。

平成21年2月　湘南ベルマーレサッカー指導

平成30年6月　天理教奉仕作業

小田原少年院で行われた。1,000人を超える地元の方が訪れた年もあった。

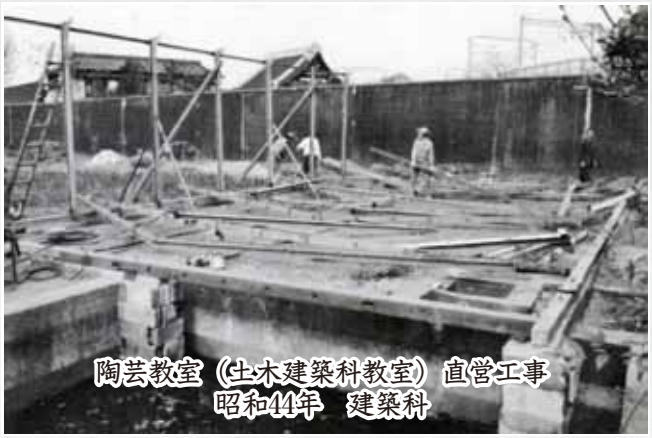
職業

手に職をつけて、出院を目指す
時代に応じて種目を変えながら

平成30年6月　土木建築科

平成24年8月　木工科

昭和45年6月　小田原少年院自律勤労隊の箱根での作業風景。



陶芸教室（土木建築科教室）直営工事
昭和44年　建築科

昭和55年頃　職業進路別講座（左官）

ことは今も昔も変わらない。
矯正教育の中心の一つとして、続けられてきた。

平成８年頃　パソコン学習

昭和55年頃　金属加工科

小田原少年院の上級生は、箱根病院、早雲寺、駅西口、大稲荷神社など、多くの場所で社会奉仕活動を行った。

体育祭

小田原少年院最大のイベント
生徒、職員、保護者を交え、

米俵担ぎレース
昭和40年10月

障害物競走
昭和40年10月

バトンガールの特別参加
昭和55年頃

組み体操
昭和55年頃

様々な競技や出し物が行われた。

入場行進
昭和60年10月

仮装競争　箱根八里
昭和60年10月

よさこいソーラン
平成17年10月

最後の雨の体育祭
平成30年７月

昭和39年10月体育祭、ブラスバンドの演奏による100名超の入場行進

行事

小田原少年院では，一年間
多くの行事が行われた。
上級生は，行事の運営にも
達成感を味わった。

日々の鍛錬の披露の場
平成15年3月　院内剣道大会

新しい先生方との交流の場になった
平成17年4月　観桜会-綱引き大会

昭和55年頃8月、更生保護女性会や谷津地域の方々などを

を通して、季節を感じられる

携わり、責任感が芽生え、そして

声を出し合い一つのボールを追う
平成30年３月　院内サッカー大会

保護者の前で決意を語る
平成14年１月　成人式

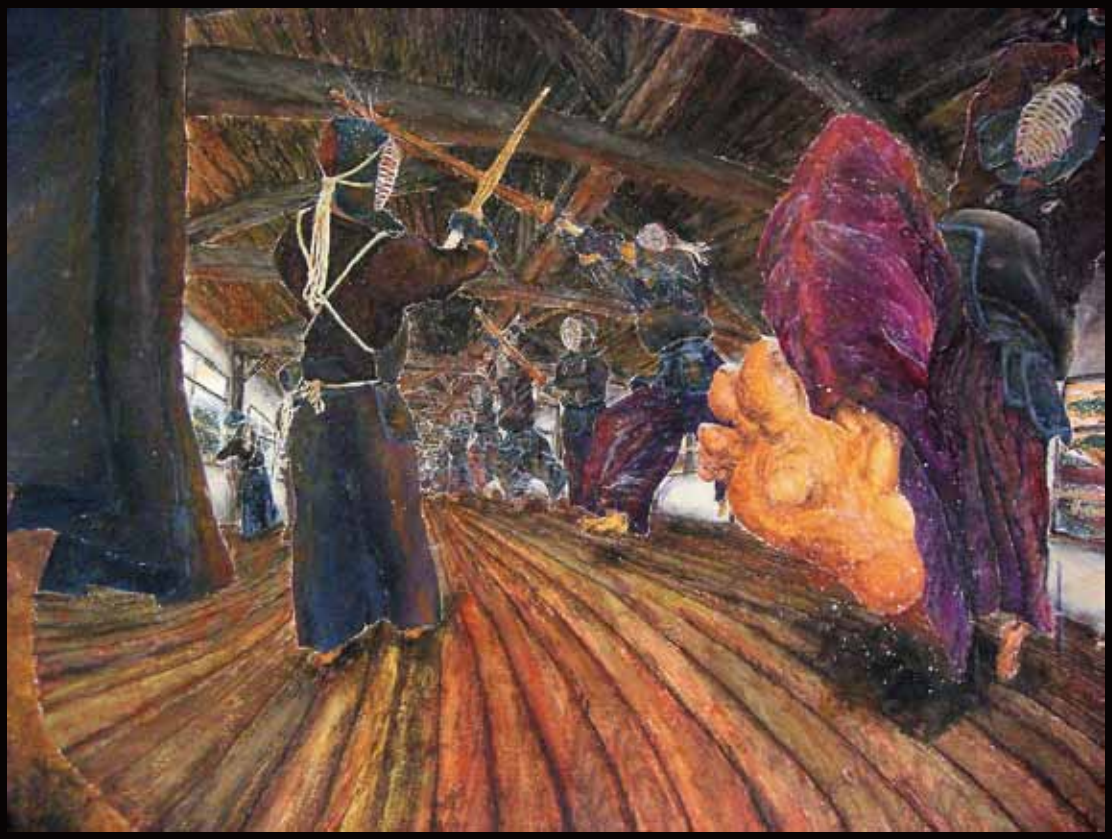
つきたてのお餅は絶品，長い列ができた
平成27年12月　もちつき会

一辺15mのプールを全力で
平成55年８月　院内水泳大会

自給野菜で作った鍋の味は格別
昭和55年頃　収穫祭

お招きして盆踊り大会が開かれた。庁舎と夜空の星が輪を見守る。

平成30年　生徒作品



平成21年　生徒作品

小田原少年院史

歴代篤志面接委員名簿

氏名	委嘱日	解嘱日	職業等	年数	月数
薮田喜作	S31.1.23	S33.9.12	神職	2	7
安間喜代	S31.11.14	S41.2.1	小児科医	9	2
中里史子	S31.11.14		調停委員		
河野佐七	S32.12.24	S35.12.25	元院長	3	0
盤木圓乗	S32.12.24	S33.11.15	教諭	0	10
和田重正	S33.1.10	S36.4.26	私塾経営	3	3
松陰定英	S33.1.31	S33.9.12	保護司	0	7
額田ヒサ	S33.2.5	S41.2.1	無職	7	11
平沼マチ	S33.4.1	S40.3.11	無職	6	11
岸達志	S38.4.1	現職	東泉院住職	55	0
北邨謙順	S40.1.20	H19頃	僧侶	41	
磯崎庸清	S40.8.4	S42.8.3	税理士	2	0
中村四郎	S40.8.4	S42.8.3	飲食店経営	2	0
石田竜夫	S40.8.4	S42.5.31	保護司	1	9
八亀コウ	S40.8.4	S54.2.1	保護司	13	5
佐々木禿瘖	S40.8.4	S49.4.10	僧侶	8	8
木辺三郎	S40.8.4	H1.10.8	旅館経営	24	2
草柳輝弥	S40.8.4	S42.8.3	旅館経営	2	0
福井清市	S40.8.4	H21.8.4	剣道道場代表	44	0
小松圭藏	S40.9.24	S42.6.15	職安所長	1	8
高井英吾	S40.9.24	S44.6.19	会社社長	3	8
草山朝子	S40.9.24	S42.9.23	神職	2	0
森知足	S40.9.24	S56.1.30	僧侶	15	4
勝俣勘太郎	S40.9.24	S57.11.28	会社社長	17	2
後藤眞太郎	S41.12.25	H20.12.3	天理教御幸浜分教会会長	42	0
雨宮熊男	S41.2.1	H49.2.1	法律事務所所長	8	0
松下康太郎	S41.10.25	H18頃	著述業	39	
岩本左衛子	S41.10.25		保育園所長		
妻木正麟	S42.3.10	H19.2.1	田中流宗家	39	10
志村宗男	S42.8.21	現職	米穀商	50	7

氏名	委嘱日	解嘱日	職業等	年数	月数
小川　迪雄	S42.11.25	現　職	高長寺住職	50	4
宮崎　健男	S43.1.10		牧　師		
オ・ゴードン・タング	S43.1.10	S43.6.17	野グリ国際村議長	0	5
アイモン・ハロルド	S43.9.18		牧　師		
杉山　昭男	S44.1.30		牧　師		
橋本　三郎	S44.9.3	H27.2.27	歯科医師	45	5
忍足さや子	S46.6.1		調停委員		
戸川　　勤	S46.11.1	H15.5.12	牧　師	31	6
秋山　隆治	S47.2.1		左官業社長		
赤岩　賢三	S47.6.1	H4 頃	絵画研究所長	19	
江木　文彦	S48.1.1	S58.1.1	家庭科学研究所長	10	0
安藤　康哉	S48.3.1	現　職	湘音寺住職	45	1
新井田ユキ	S48.5.1	S52.6.1	横浜カウンセリング協会	4	1
柳下　竹治	S52.6.1	H13.3.31	元管区長	23	10
福住　隆行	S52.9.1	H5 頃	旅館経営	15	
蜂谷　昌子	S52.9.1	H6 頃	カウンセリング協会会員	16	
市川　悦子	S55.10.1	現　職	カウンセリング協会理事	37	6
中村　信義	S55.10.1	H25.5.8	元　院　長	32	7
栗山　純男	S56.7.1	S62.2.9	元　職　員	5	7
井上　善介	S60.4.1	現　職	会社社長	33	0
栗原　覚藏	S60.6.20	H10 頃	不動産貸付業	12	
松蔭　徳誠	S60.9.24	H15.2.1	蓮乗寺住職	17	4
柳川　浩子	S62.3.10	H27.2.27	大学講師	27	11
松本　敦子	H2.3.10	現　職	コーラス指導	28	0
田中　安子	H2.11.1	H5 頃	陶芸教室経営	2	
大木　喬明	H3.3.3	H13.3.31	元　教　諭	10	0
高松佐久江	H3.3.1	現　職	調停委員	27	1
宮川　宜信	H7.9.1	H19 頃	金光教小田原教会長	11	
溝呂木　絢子	H11.7.1	H24 頃	元調停委員	12	
森　　頼子	H11.10.18	H29.3.31	企業内カウンセラー	17	5
穐山　光彰	H20.4.1	H25.4.30	大稲荷神社宮司	5	1

歴代教誨師名簿

氏名	委嘱日	解嘱日	職業等	年数	月数
小俣　真誠	S31.1.10	S35.12.25	僧　侶	4	11
藤原　　亮	S31.1.19	S35.12.25	牧　師	4	11
岸　　達志	S33.5.1	現　職	東泉院住職	59	11
脇山　好孝	S35.8.1	S54.2.12	神　職	18	6
阿部　　勉	S40.8.4		牧　師		
北邨　謙順	S40.1.20	H19 頃	西念寺住職	41	
後藤　眞太郎	S41.12.25	H20.11.18	天理教御幸浜分教会会長	41	10
安部　龍巌	S42.8.21	S61.6.18	僧　侶	18	9
小川　迪雄	S42.11.25	現　職	高長寺住職	50	4
遠藤　　哲	S46.6.1	H9.6.1	牧　師	26	0
安藤　康哉	S48.8.1	現　職	潮音寺住職	44	8
鈴木　伴三	S54.10.10	S58.1.27	僧　侶	3	3
大場　得玄	S57.10.1	S60.6.17	僧　侶	2	8
鈴木　一雄	S58.5.10	H9.6.1	神　職	14	0
寺沢　正幸	S59.5.10	H9.6.1	牧　師	13	0
松蔭　徳誠	S60.9.24	H14.12.1	蓮乗寺住職	17	2
乃美　尭界	S61.11.10	H24.12.3	長楽寺住職	26	0
穐山　光彰	H9.6.1	H25.4.30	大稲荷神社宮司	15	11
宮嶋　由高	H9.6.1	現　職	浄蓮寺住職	20	10
藤波　勝正	H9.6.1	現　職	基督兄弟団小田原教会牧師	20	10
平賀　康雄	H9.6.1	現　職	福昌院住職	20	10
阿川　文叡	H15.5.19	現　職	常光寺住職	14	10
松田　宏道	H20.2.18	現　職	吉祥院住職	10	1
金子　信一	H21.2.13	現　職	日本基督教団湯河原教会牧師	9	1
松蔭　宣徳	H21.2.13	現　職	蓮乗寺住職	9	1
本多　國実	H21.2.13	H24.9.24	天理教神奈川教区小田原支部長	3	7
平井　義行	H26.1.20	現　職	貴船神社宮司	4	2
横山　和久	H25.8.16	現　職	天理教金田分教会会長	4	7

篤志面接委員協議会現職者紹介

会長

志村宗男

副会長

松本敦子

岸　達志

小川迪雄

安藤康哉

市川悦子

井上善介

高松佐久江

※会長、副会長のほかは委嘱日順

教誨師会現職者紹介

会長

安藤康哉

副会長

宮嶋由高

副会長

平賀康雄

岸　達志

小川迪雄

藤波勝正

阿川文叡

松田宏道

金子慎一

松蔭宣徳

平井義行

横山和久

※会長、副会長のほかは委嘱日順

歴代施設長名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	河野佐七	S27.5.1	美保少年院	S30.6.30	退職	3	2
2	森下政治	S30.7.1	四国少年院	S33.3.	愛知少年院	2	8
3	平沼文男	S33.3.	中央矯正研修所	S40.5.4	府中刑務所	7	2
4	宗岡哲悟	S40.5.4	神奈川少年院	S45.3.20	近畿地方更生保護委員会	4	10
5	菅野信夫	S45.3.20	三重少年学院	S47.3.16	退職	1	11
6	栗山誠司	S47.3.16	東北少年院	S49.4.1	瀬戸少年院	2	0
7	渡辺正止	S49.4.1	静岡少年院	S51.4.1	退職	2	0
8	中村信義	S51.4.1	千葉星華学院	S52.4.1	退職	1	0
9	本岡文三	S52.4.1	久里浜少年院	S53.4.1	瀬戸少年院	1	0
10	土井愛治	S53.4.1	神奈川少年院	S54.4.1	退職	1	0
11	中村一三	S54.4.1	麓刑務所	S55.4.1	久里浜少年院	1	0
12	野間隆三	S55.4.1	佐世保刑務所	S57.4.1	北海少年院	2	0
13	藤田弘人	S57.4.1	矯正研修所	S60.4.1	退職	3	0
14	福田雅晴	S60.4.1	三重刑務所	S62.4.1	東京矯正管区	2	0
15	原山晃	S62.4.1	和泉少年院	H3.3.31	退職	4	0
16	日下部守	H3.4.1	宮川医療少年院	H6.4.1	福岡少年院	3	0
17	土屋豊	H6.4.1	喜連川少年院	H7.3.31	退職	1	0
18	木村邦雄	H7.4.1	盛岡少年院	H7.12.16	広島少年院	0	8
19	竹内正孝	H7.12.16	名古屋矯正管区	H9.4.1	東北少年院	1	3
20	岩岡正	H9.4.1	奈良少年院	H11.4.1	愛光女子学園	2	0
21	福島啓造	H11.4.1	市原学園	H12.4.1	名古屋矯正管区	1	0
22	佐久間邦博	H12.4.1	大分少年院	H13.4.1	大阪矯正管区	1	0
23	住友和彦	H13.4.1	岡山少年院	H14.4.1	広島少年院	1	0
24	梅村謙	H14.4.1	内閣府	H15.4.1	広島少年院	1	0
25	八田次郎	H15.4.1	瀬戸少年院	H17.3.31	退職	2	0
26	柳生高司	H17.4.1	奈良少年院	H19.4.1	加古川学園	2	0
27	北林修二	H19.4.1	札幌矯正管区	H20.4.1	北海少年院	1	0
28	坂田裕志	H20.4.1	広島矯正管区	H21.4.1	北海少年院	1	0
29	田上俊	H21.4.1	和泉学園	H22.4.1	退職	1	0
30	門脇高次	H22.4.1	八街少年院	H23.3.31	退職	1	0
31	鈴木康行	H23.4.1	沖縄少年院	H24.4.1	加古川学園	1	0
32	久野正道	H24.4.1	静岡刑務所	H26.4.1	加古川学園	2	0
33	宮崎誠	H26.4.1	八街少年院	H28.4.1	四国少年院	2	0
34	桑田裕	H28.4.1	岡山少年院	H30.4.1	愛光女子学園	2	0
35	齊藤美紀雄	H30.4.1	松山学園			0	0

歴代次長名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	辻　修	S27.9.	多摩少年院	S33.3.	東北少年院	5	7
2	依田　登	S33.4.	多摩少年院	S34.3.16	湖南学院	0	11
3	井上謙治	S34.3.16	旭川刑務所	S37.3.16	中部研	3	0
4	津久井保	S37.3.16	盛岡少年院	S39.3.16	久里浜少年院	2	0
5	渡辺正止	S39.3.16	河内少年院	S42.6.1	盛岡少年院	3	2
6	白井忠義	S42.6.1	岡山少年院	S44.3.25	喜連川少年院	1	9
7	山田三郎	S44.3.25	静岡少年院	S46.3.16	久里浜少年院	1	11
8	久保田　章	S46.3.16	関東医療少年院	S52.4.1	横浜刑務所	6	0
9	野口　邦	S53.2.17	神奈川少年院	S54.10.1	久里浜少年院	1	7
10	平山正徳	S54.10.1	榛名少年院	S56.4.1	名古屋矯正管区	1	6
11	金内竹寿	S56.4.1	榛名少年院	S60.10.22	逝去	4	6
12	田原哲治	S60.12.1	東京少年鑑別所	S63.4.1	広島少年院	2	4
13	池田八太郎	S63.4.1	有明高原寮	H2.4.1	関東医療少年院	2	0
14	岩岡　正	H2.4.1	有明高原寮	H4.4.1	青葉女子学園	2	0
15	山田俊夫	H4.4.1	奈良少年院	H6.4.1	貴船原少女苑	2	0
16	三浦昭章	H6.4.1	月形学園	H8.4.1	月形学園	2	0
17	柿木榮三	H8.4.1	和泉学園	H10.4.1	京都刑務所	2	0
18	沼口　昇	H10.4.1	赤城少年院	H12.3.24	千葉少年鑑別所	1	11
19	川合敏男	H12.3.24	水府学院	H13.3.23	愛光女子学園	1	0
20	三村知彦	H13.4.1	矯正局	H15.4.1	矯正局	2	0
21	田村徹太郎	H15.4.1	金沢刑務所	H17.4.1	甲府刑務所	2	0
22	沢田堅次	H17.4.1	横浜拘置支所	H18.4.1		1	0
23	山本次雄	H18.4.1	静岡少年鑑別所	H20.3.31	退職	2	0
24	齊藤美紀雄	H20.3.24	東北少年院	H22.4.1	東北少年院	2	0
25	柳　廣二	H22.4.1	榛名女子学園	H23.3.31	退職	1	0
26	柳川芳久	H23.4.1	奈良少年院	H24.4.1	喜連川少年院	1	0
27	伊藤真名世	H24.4.1	関東医療少年院	H26.4.1	山形刑務所	2	0
28	吉田勝夫	H26.4.1	青葉女子学園	H28.4.1	山形刑務所	2	0
29	山下徳之	H28.3.28	関東医療少年院	H30.3.31	退職	2	0
30	岡部英洋	H30.4.1	島根あさひ社会復帰促進センター			0	0

歴代医務課長名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	若木　孝	S28.7.1	採用	S39.3.16	退職	10	8
2	武田義雄	S39.4.1	採用	S56.4.1	退職	17	0
3	東海俊夫	S54.6.13	非常勤採用	S54.9.12	退職	0	3
4	福本義明	S57.4.1	八王子医療刑務所	S59.9.30	退職	2	6
5	原　敬造	S56.4.1	非常勤採用	S60.8.31	退職	4	5
6	園部和子	S60.8.20	採用	H15.3.31	退職	17	7
7	黒田憲治	H15.4.1	採用	H16.8.31	退職	1	5
8	棟尾裕之	H16.10.1	採用	H21.12.31	退職	5	3
9	松木盛行		非常勤採用		退職		
10	宍倉　實		非常勤採用		退職		
11	岡澤秀樹	H24.2.1	採用	H28.10.1	神戸少年鑑別所	4	8
12	大滝光生	H29.3.1	採用			1	1

歴代庶務課長名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	南雲壽三	S27.6.	三重刑務所	S30.3.16	八王子医療刑務所	2	9
2	林　萬吉	S30.3.16	茨城農芸学院	S30.12.	神奈川少年院	0	8
3	来栖宗孝	S30.12.	水戸少年鑑別所	S32.8.	中央矯正研修所	1	8
4	加藤喜太郎	S32.4.10	多摩少年院	S33.8.31	退職	1	4
5	柏木京二	S33.8.29		S37.3.16	関東医療少年院	3	6
6	金山政雄	S37.3.16	佐世保少年院	S40.3.25	多摩少年院	3	0
7	佐治　修	S40.3.25	大阪矯正管区	S42.3.20	当院教務課長	1	11
8	仁村啓助	S42.3.20	新潟少年学院	S44.3.25	宇治少年院	2	0
9	栗山純夫	S44.3.25	愛光女子学園	S49.3.20	静岡少年鑑別所	4	11
10	熊坂武己	S49.3.20	新潟少年学院	S53.4.1	静岡少年院	4	0
11	仁村啓助	S53.4.1	神奈川少年院	S54.4.1	久里浜少年院	1	0
12	栗山純夫	S54.4.1	浦和少年鑑別所	S56.4.1	退職	2	0
13	柏原隆男	S56.4.1	神奈川医療少年院	S61.1.1	逝去	4	9
14	沼尾和也	S61.4.1	前橋少年鑑別所	S63.3.22	浦和少年鑑別所	1	11
15	水島節夫	S63.4.1	榛名少年院	H2.4.1	赤城少年院	2	0
16	土田基憲	H2.4.1	北海少年院	H4.4.1	赤城少年院	2	0
17	齋藤幸信	H4.4.1	八街少年院	H5.4.1	水府学院	1	0
18	浅原武納	H5.4.1	愛光女子学園	H7.4.1	横浜少年鑑別所	2	0
19	木嶋至人	H7.4.1	千葉少年鑑別所	H9.4.1	横浜少年鑑別所	2	0
20	瀬野英策	H9.4.1	浦和少年鑑別所	H12.4.1	愛知少年院	3	0
21	宮田博之	H12.4.1	宇都宮少年鑑別所	H15.4.1	宇都宮少年鑑別所	3	0
22	足立芳二郎	H15.4.1	さいたま少年鑑別所	H16.4.1	当院統括専門官（教務）	1	0
23	松原広次	H16.4.1	新潟少年学院	H19.4.1	静岡少年鑑別所	3	0
24	曽和　浩	H19.4.1	当院統括専門官（分類保護）	H21.4.1	仙台矯正管区	2	0
25	小島弘美	H21.4.1	当院統括専門官（分類保護）	H23.4.1	横浜刑務所	2	0
26	栗岩英夫	H23.4.1	関東医療少年院	H26.4.1	新潟少年学院	3	0
27	石井　誠	H26.4.1	水府学院	H28.4.1	さいたま少年鑑別所	2	0
28	椎名裕二	H28.4.1	府中刑務所	H30.4.1	東京拘置所	2	0
29	古澤俊一	H30.4.1	当院統括専門官（企画調整）			0	0

歴代教務課長名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	上村久吾	S27.7.	水府分院	S30.8.1	印旛少年院	3	1
2	中村信義	S30.8.1	八街少年院	S32.10.1	秩父学園	2	2
3	早川美都雄	S32.11.1	新潟少年学院	S33.12.1	甲府少年鑑別所	1	1
4	川船謙	S33.12.1	神戸刑務所	S39.3.16	松本少年刑務所	5	3
5	広瀬鋭男	S39.3.16	印旛少年院	S42.3.20	東京医療少年院	3	0
6	佐治修	S42.3.20	当院庶務課長	S44.3.25	京都医療少年院	2	0
7	川橋英雄	S44.3.25	北海少年院	S46.3.16	当院分類保護課長	1	11
8	平山正徳	S46.3.16	当院分類保護課長	S48.4.1	久里浜少年院	2	0
9	藤原博	S48.4.1	神奈川少年院	S49.3.20	東京少年鑑別所	0	11
10	寺井昇	S49.3.20	東京少年鑑別所	S53.1.11	久里浜少年院	3	9
11	池田茂美	S53.2.17	神奈川少年院	S55.4.1	浦和少年鑑別所	2	1
12	福田秀男	S55.4.1	当院分類保護課長	S56.4.1	神戸少年鑑別所	1	0
13	滝沢泰造	S56.4.1	喜連川少年院	S60.4.1	宮川医療少年院	4	0
14	中川哲夫	S60.4.1	愛知少年院	S63.4.1	浦和少年鑑別所	3	0

歴代分類保護課長名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	白木喬一	S29.4.		S33.8.		4	4
2	佐藤富士郎	S33.8.	静岡少年院	S35.3.16	新潟学院	1	7
3	小峰友一	S35.3.16	愛光女子学園	S36.5.6	大阪矯正管区	1	1
4	根本茂	S36.5.6	赤城少年院	S37.3.16	札幌刑務所	0	10
5	野口弘道	S37.3.16	札幌矯正管区	S39.8.16	東京拘置所	2	5
6	万山寿枝	S39.8.16	栃木刑務所	S40.3.16	交野女子学院	0	7
7	平山正徳	S40.3.25	東京矯正管区	S46.3.16	当院教務課長	5	11
8	川橋英雄	S46.3.16	当院教務課長	S47.3.16	仙台少年鑑別所	1	0
9	鳥居伸	S47.3.16	茨城農芸学院	S48.1.27	逝去	0	10
10	田沼全道	S48.	千葉星華学院	S50.4.1	千葉星華学院	2	2
11	加来俊胤	S50.3.17	赤城少年院	S51.9.1	横浜少年鑑別所	1	5
12	山田量一	S51.9.2	久里浜少年院	S53.4.1	静岡少年鑑別所	1	7
13	福田秀夫	S53.4.1	神奈川少年院	S55.4.1	当院教務課長	2	0
14	草間徳康	S55.4.1	瀬戸少年院	S57.4.1	関東医療少年院	2	0
15	竹内達郎	S57.4.1	府中刑務所	S58.4.1	神奈川医療少年院	1	0
16	沼口昇	S58.4.1	矯正研修所東京支所	S59.4.1	新潟学院	1	0
17	大谷雅昭	S59.4.1	有明高原寮	S62.3.16	茨城農芸学院	2	11
18	川合敏男	S62.4.1	久里浜少年院	S63.4.1	当院統括専門官(企画調整)	1	0

歴代首席専門官名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	草間徳康	S63.4.1	四国少年院	H1.4.1	退職	1	0
2	水野権一郎	H1.4.1	八街少年院	H4.4.1	東京矯正管区	3	0
3	名取雄三	H4.4.1	多摩少年院	H5.4.1	駿府学園	1	0
4	茅原良一	H5.4.1	広島矯正管区	H7.4.1	高松少年鑑別所	2	0
5	吉田善克	H7.4.1	駿府学園	H8.3.19	青森少年院	0	11
6	菅原孝輝	H8.4.1	盛岡少年院	H11.4.1	赤城少年院	3	0
7	亀山茂	H11.4.1	青森少年鑑別所	H13.4.1	茨城農芸学院	2	0
8	阿部盛人	H13.4.1	仙台矯正管区	H15.3.24	人吉農芸学院	1	11
9	黒長義広	H15.3.24	広島矯正管区	H17.4.1	久里浜少年院	2	0
10	村尾博司	H17.4.1	神奈川医療少年院	H19.4.1	赤城少年院	2	0
11	佐藤淳	H19.4.1	置賜学院	H22.3.23	久里浜少年院	2	11
12	野堀雅之	H22.3.23	茨城農芸学院	H23.4.1	置賜学院	1	0
13	柴田昭彦	H23.3.28	茨城農芸学院	H24.3.23	八街少年院	0	11
14	川島博之	H24.3.23	横浜少年鑑別所	H26.5.1	東北少年院	2	1
15	若林鉄也	H26.5.1	茨城農芸学院	H28.3.28	関東医療少年院	1	10
16	尾崎健児	H28.4.1	駿府学園			2	0

歴代統括専門官（企画調整）名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	川合敏男	S63.4.1	当院分類保護課長	H3.4.1	東京少年鑑別所	3	0
2	山内盛行	H3.4.1	市原学園	H6.4.1	多摩少年院	3	0
3	川上昇	H6.4.1	茨城農芸学院	H7.12.31	退職	1	9
4	藤島清	H8.1.1	当院統括専門官(教務)	H9.4.1	喜連川少年院	1	3
5	田上昭人	H9.4.1	久里浜少年院	H11.4.1	喜連川少年院	2	0
6	鳥居計人	H11.4.1	当院統括専門官(教務)	H13.4.1	駿府学園	2	0
7	五十嵐敬治	H13.4.1	当院統括専門官(教務)	H15.4.1	神奈川医療少年院	2	0
8	渡部孝治	H15.4.1	当院統括専門官（分類保護）	H16.4.1	広島少年院	1	0
9	大熊直人	H16.4.1	矯正局国際班	H18.4.1	多摩少年院	2	0
10	小柴直樹	H18.4.1	当院統括専門官（分類保護）	H20.4.1	浪速少年院	2	0
11	永石聡	H20.4.1	横浜刑務所横須賀刑務支所	H24.4.1	川越少年刑務所	4	0
12	押越真人	H23.4.1	名古屋矯正管区	H24.4.1	高松矯正管区	1	0
13	伊藤広行	H24.4.1	神奈川医療少年院	H27.4.1	茨城農芸学院	3	0
14	阿部容司	H27.4.1	駿府学園	H28.4.1	喜連川少年院	1	0
15	古澤俊一	H28.3.28	神奈川医療少年院	H30.4.1	当院庶務課長	2	0
16	松村暢	H30.4.1	当院統括専門官(調査･支援)			0	0

歴代統括専門官（分類保護・調査支援） 名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	木暮武男	S63.4.1	神奈川医療少年院	H1.4.1	退職	1	0
2	丸山武志	H1.4.1	横浜少年鑑別所	H3.4.1	退職	2	0
3	酒井則昭	H3.4.1	月形学園	H7.4.1	松山刑務所	4	0
4	近藤隆	H7.4.1	金沢刑務所	H8.4.1	当院統括専門官（教務）	1	0
5	佐子真	H8.4.1	東京少年鑑別所	H11.4.1	東京少年鑑別所	3	0
6	菅谷裕	H11.4.1	水府学院	H12.10.1	久里浜少年院	1	6
7	渡部孝治	H12.10.1	駿府学園	H15.4.1	当院統括専門官（企画調整）	2	6
8	冨沢喜与志	H15.4.1	新潟少年学院	H17.4.1	川越少年刑務所	2	0
9	小柴直樹	H17.4.1	矯正局教育課	H18.4.1	当院統括専門官（企画調整）	1	0
10	曽和浩	H18.4.1	青森少年院	H19.4.1	当院庶務課長	1	0
11	小島弘美	H19.4.1	神奈川医療少年院	H21.4.1	当院庶務課長	2	0
12	稲葉慎一	H21.3.23	月形刑務所	H24.3.23	千葉少年鑑別所	3	0
13	岡本康宏	H24.3.23	静岡刑務所	H25.7.1	黒羽刑務所	1	3
14	谷敏昭	H25.7.1	黒羽刑務所	H27.4.1	和泉学園	1	9
15	吉田稔	H27.4.1	久里浜少年院	H29.3.31	退職	2	0
16	松村暢	H29.4.1	黒羽刑務所	H30.4.1	当院統括専門官（企画調整）	1	0
17	木村勉	H30.4.1	愛光女子学園			0	0

歴代統括専門官（教務） 名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	堀田博正	S63.4.1	多摩少年院	H4.4.1	退職	4	0
2	平田寿男	H4.4.1	多摩少年院	H6.3.31	退職	2	0
3	藤島清	H6.4.1	水府学院	H8.1.1	当院統括専門官（企画調整）	1	9
4	近藤隆	H8.4.1	当院統括専門官（分類保護）	H9.4.1	矯正研修所	1	0
5	鳥居計人	H9.4.1	八街少年院	H11.4.1	当院統括専門官（企画調整）	2	0
6	五十嵐啓治	H11.4.1	八王子少年鑑別所	H13.4.1	当院統括専門官（企画調整）	2	0
7	吉村幸司	H13.4.1	京都刑務所	H14.4.1	大臣官房司法法制部	1	0
8	佐藤修	H14.4.1	静岡刑務所	H16.4.1	福島少年鑑別所	2	0
9	足立芳二郎	H16.4.1	当院庶務課長	H19.3.16	駿府学園	2	11
10	泉水利夫	H19.3.16	関東医療少年院	H21.4.1	駿府学園	2	0
11	吉田稔	H21.4.1	関東医療少年院	H24.3.31	退職-再任用	3	0
12	櫃原経宏	H24.4.1	甲府少年鑑別所	H28.4.1	横浜少年鑑別所	4	0
13	澤田豊	H28.4.1	東京矯正管区			2	0

歴代庶務課長補佐名簿

代	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	瀬野英策	S58.4.1	水府学園	S60.4.1	八王子少年鑑別所	2	0
2	近藤茂男	S60.4.1	長野少年鑑別所	S62.3.25	長野少年鑑別所	1	11
3	渕上洋知	S62.4.1	多摩少年院	H1.4.1	赤城少年院	2	0
4	星野利夫	H1.4.1	市原学園	H3.1.1	長野少年鑑別所	1	9
5	伊佐治吉雄	H3.1.16	市原学園	H5.4.1	静岡少年鑑別所	2	2
6	岩田俊一	H5.4.1	東京少年鑑別所	H6.4.1	水戸少年刑務所	1	0
7	柴田房雄	H6.4.1	東京矯正管区	H8.4.1	大臣官房営繕課	2	0
8	亀井裕之	H8.4.1	東京少年鑑別所	H10.4.1	久里浜少年院	2	0
9	石原英樹	H10.4.1	横浜少年鑑別所	H12.4.1	水戸少年鑑別所	2	0
10	黒子久雄	H12.4.1	東京矯正管区	H14.4.1	横浜刑務所	2	0
11	北村大	H14.4.1	関東医療少年院	H16.4.1	宇都宮少年鑑別所	2	0
12	福本聡	H16.4.1	東京少年鑑別所	H18.4.1	榛名女子学園	2	0
13	植田岳	H18.4.1	東京少年鑑別所	H20.4.1	榛名女子学園	2	0
14	榧場靖生	H25.4.1	東京少年鑑別所	H28.4.1	茨城農芸学院	3	0
15	川島幸訓	H28.4.1	法務省保護局	H29.2.20	東京矯正管区	0	10
16	鈴木清登	H29.4.1	府中刑務所			1	0

職員名簿

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
1	桑原　正	S27.5.	再度山学院	S36.3.16	茨城農芸学院	8	10
2	安田好子	S27.6.16	採用	S29.12.31	退職	2	6
3	足立嘉則	S27.6.	美保少年院	S30.3.	美保少年院	2	9
4	木下志郎	S27.6.	印旛少年院	S33.12.16	赤城少年院	6	6
5	吉見澄子	S27.8.1	採用	S38.8.31	退職	11	1
6	及川英男	S27.8.1	採用	S35.3.3	退職	7	7
7	館岡勝直	S27.8.1	採用	S30.3.	多摩少年院	2	7
8	笛木信助	S27.8.	印旛少年院	S30.3.	赤城少年院	2	7
9	宮沢和雄	S27.8.	採用	S37.2.1	八街少年院	9	6
10	坂本つね	S27.9.1	採用	S28.5.31	退職	0	9
11	清水理子	S27.9.1	採用	S28.11.30	退職	1	3
12	塩沢　肇	S27.10.16	赤城少年院	S43.10.2	逝去	15	11
13	土屋髙徳	S27.10.16	採用	S32.9.26	退職	4	11
14	藤田(花沢)明	S27.11.1	印旛少年院	S36.3.16	久里浜少年院	8	4
15	尾﨑富平	S27.11.1	多摩少年院	S34.11.16	茨城農芸学院	7	0
16	木村時義	S27.11.	人吉農芸学院	S37.2.16	神奈川少年院	9	3
17	遠山繁雄	S28.1.1					
18	加藤兼敬	S28.1.1	採用	S40.3.16	退職	12	2
19	岸豊次郎	S28.1.1					
20	中井知義	S28.1.1		S38.12.5	東京少年鑑別所	10	11
21	長井裕吉	S28.1.1					
22	鈴木二郎	S28.1.1		S35.3.16	退職	7	2
23	大野コウ	S28.1.16	採用	S60.3.31	退職	32	2
24	藤澤照雄	S28.1.16	採用	S28.6.30	退職	0	5
25	大曽根勇	S28.1.	採用	S38.5.16	東京少年鑑別所	10	4
26	高松庚士	S28.	採用	S32.11.	中野刑務所	4	
27	豊田英雄			S35.7.1	東京少年鑑別所		
28	長澤つね	S28.3.1	採用	S34.12.31	退職	6	10
29	谷川留吉	S28.3.1	採用	S35.4.15	退職	7	1
30	雨宮康明	S28.3.1	榛名女子学園	S31.1.1	千葉星華学院	2	10
31	柿田隆三	S28.9.1	採用	S35.3.16	湖南学院	6	6
32	松本俊一郎	S28.9.1	美保少年院	S32.10.	岡山少年院	4	1
33	髙杉(布施)弘子	S28.12.1	採用	S33.8.31	退職	4	9
34	大塚英幸	S29.4.1	採用	S29.8.31	退職	0	5
35	岡田　甲	S29.4.20	採用	S29.5.13	退職	0	0

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
36	大久保　豊　彬	S29.4.	採　用	S35.8.1	多摩少年院	6	4
37	壷　井　弘　明	S29.5.1	再度山学院	S37.6.16	瀬戸少年院	8	1
38	田　邊　サ　ダ	S29.5.25	採　用	S29.6.30	退　職	0	1
39	斉　藤　美佐男						
40	堀　内　桂　子	S29.7.13	採　用	S35.12.31	退　職	6	5
41	村　松　いと子	S29.7.13	採　用	S30.5.31	退　職	0	10
42	隅　　勝　己	S29.8.1	採　用	S53.1.11	久里浜少年院	23	5
43	鈴　木　秀　夫	S29.8.	静岡刑務所	S35.7.1	横浜少年鑑別所	5	11
44	石　井　俊　雄	S29.10.	採　用	S30.12.	愛光女子学園	1	2
45	今　野　善　吉	S29.12.1	置賜学院	S31.2.	愛知少年院	1	2
46	清　水　昌　子	S30.1.1	採　用	S31.9.10	退　職	1	8
47	虎　谷　次　男	S30.4.25	神奈川少年院	S32.9.26	退　職	2	5
48	加　藤　欣一郎	S30.9.1	採　用	H4.4.1	退　職	36	7
49	細　谷　治三郎	S30.9.21	採　用	S38.4.30	逝　去	7	7
50	福　島　元　雄	S30.10.	採　用	S32.11.	赤城少年院	2	1
51	野々村　久　男	S30.10.15	採　用	S32.9.26	退　職	1	11
52	細　谷　匡　亘	S30.12.	愛光女子学園	S35.3.25	神奈川少年院	4	3
53	竹　沢　藤三郎	S31.1.1	千葉星華学院	S31.	宇都宮少年鑑別所		
54	饗　場　正　文	S31.4.16	神奈川少年院	S32.10.31	退　職	1	6
55	菅　　光　雄	S31.7.16		S37.8.1	久里浜少年院	6	0
56	髙　橋　　豊	S31.9.10	採　用	S36.2.15	退　職	4	5
57	一藤木　興　忠	S31.12.1	採　用	S32.3.31	退　職	0	4
58	谷　川　和　子	S32.3.1	採　用	S32.3.31	退　職	0	1
59	米　山　俊　郎	S32.3.1	採　用	S32.3.31	退　職	0	1
60	栢　本　新　作	S32.3.1	採　用	S32.3.31	退　職	0	1
61	山　崎　　実	S32.3.	久里浜刑務所	S34.11.16	久里浜少年院	2	8
62	土　屋　　豊	S32.5.	採　用	S44.3.25	有明高原寮	11	10
63	鈴　木　竹　雄	S32.10.1	多摩少年院	S43.3.16	静岡少年院	10	5
64	黛　　政　勝	S32.10.	久里浜少年院	S38.7.1	赤城少年院	5	9
65	保　田　芳　徳	S32.11.1	採　用	S33.9.30	退　職	0	11
66	朝比奈　利　夫	S32.	採　用	S38.9.16	静岡少年院	6	
67	渡　辺　辰志二	S33.1.1	採　用				
68	岩　本　　猛	S33.1.16	採　用				
69	太　田　正　作	S33.3.26	静岡少年院	S35.9.13	逝　去	2	5
70	瀬　戸　久　子	S33.9.1	採　用	S36.3.31	退　職	2	7
71	永　井　　勉	S33.9.1	採　用	S34.9.16	茨城農芸学院	1	0
72	保　田　栄　一	S33.10.1	採　用	S62.2.14	退　職	28	4
73	奥　山　教　光	S33.10.1					

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
74	五　荘　教　光	S33.10.	神奈川少年院	S44.5.10	京都医療少年院	10	7
75	小　田　兼三郎	S33.11.8	採　用	S46.3.16	退　職	12	4
76	勝　田　成　雄	S33.	神奈川少年院	S36.3.16	神奈川少年院	3	
77	寺　本　一　郎	S33.		S35.3.16	赤城少年院	2	
78	山　口　栄　三	S33.	採　用	S42.3.16	静岡少年院	9	
79	塩　塚　　忠	S33.	採　用	S35.10.1	関東医療少年院	2	
80	大　川　　勇	S34.2.1	採　用	S34.3.31	退　職	0	2
81	保　田　芳　徳	S34.2.16	採　用	S34.3.31	退　職	0	1
82	谷　川　和　子	S34.2.16	採　用	S34.3.31	退　職	0	1
83	岩　越　元一郎	S34.3.1	採　用	S34.3.31	退　職	0	1
84	萩　原　昌三郎	S34.3.18	東京少年鑑別所	S35.3.20	退　職	1	0
85	松　川　正　信	S34.3.20	新潟少年学院	S36.4.1		2	0
86	佐々木　鋭　悟			S34.8.16	東北少年院		
87	小　沢　亘　一	S34.8.1	岡崎刑務支所	S35.10.1	岡山少年院	1	2
88	渡　辺　忠　男	S34.8.16	東北少年院	S38.3.1	横浜少年鑑別所	3	6
89	浜　野　　凞	S34.9.16	横浜少年鑑別所	S37.8.1	中野刑務所	2	10
90	山　田　清　人	S34.11.16	水府学院	S37.5.1	横浜少年鑑別所	2	5
91	西　本　新　平			S37.3.16	印旛少年院		
92	下　田　玉　子	S35.1.25	採　用	S36.3.3	退　職	1	1
93	野　口　　邦	S35.3.16	湖南学院	S39.5.16	明徳少女苑	4	2
94	名　倉　十　郎	S35.3.16	水府学院	S45.3.16	退　職	10	0
95	鈴　木　繁　雄	S35.3.25	豊浦医療少年院	S50.4.1	退　職	15	0
96	西　本　洋　子	S35.4.1	採用	S35.10.31	退　職	0	7
97	橘　　偉　仁	S35.4.1	府中刑務所	S38.5.1	多摩少年院	3	1
98	山　口　昭　光	S35.4.16	採　用	S37.3.31	退　職	1	11
99	瀧　本　文　江	S35.6.6	採　用	S50.4.1	退　職	14	9
100	清　　新　平	S35.6.25	採　用	S46.3.16	八街少年院	10	8
101	仙　波　守　一	S35.7.11	赤城少年院	H4.3.31	退職	31	8
102	菊　池　千代治	S35.8.1	多摩少年院	S43.3.16	千葉星華学院	7	7
103	平　沼　　篤	S35.10.1	府中刑務所	S40.3.1	東京医療少年院	4	5
104	益　子　政　人	S35.10.1	採　用	S36.6.5	横浜税関	0	8
105	三本杉　博　行	S35.10.1		S37.6.1	水府学院	1	8
106	村　松　秀　雄	S35.11.25	水府学院	S38.3.1	水府学院	2	3
107	滝　本　美　子	S35.12.16	採　用	S38.8.31	退　職	2	8
108	富　岡　映　子	S36.2.7	採　用	S40.4.3	退　職	4	1
109	松浦(笠間)京子	S36.2.7	採　用	S41.2.7	退　職	5	0
110	芳　賀　　是	S36.2.24	採　用	S37.9.6	水府学院	1	6
111	中　村　利　平	S36.3.16	水府学院	S42.10.16	喜連川少年院	6	7

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
112	高城博明	S36.3.20	広島少年鑑別所	S43.3.16	東京少年鑑別所	6	11
113	小林仁	S36.3.	久里浜少年院	S38.10.16	印旛少年院	2	7
114	水沢下枝	S36.4.1	採用	S40.4.15	退職	4	0
115	千代川隆	S36.6.6	採用	S37.12.31	退職	1	6
116	島貫仁	S36.6.26					
117	黒川善之	S36.6.26		S42.6.1	喜連川少年院	5	11
118	相沢清	S37.2.1	採用	S51.3.16	神奈川少年院	14	1
119	野上良温	S37.3.1	東京拘置所	S57.6.1	退職	20	3
120	小川稔夫	S37.3.12	赤城少年院	S37.10.1	八街少年院	0	6
121	塩塚忠	S37.3.16	関東医療少年院	S42.6.1	印旛少年院	5	2
122	湯川勉	S37.4.1	採用	S37.7.14	退職	0	3
123	栗田善正	S37.5.16	採用	S37.5.22	退職	0	0
124	三枝英雄	S37.5.30	採用	S37.9.1	退職	0	3
125	松浦保	S37.6.1	東京拘置所	H11.3.31	退職	36	10
126	久保道明	S37.7.16	採用	S46.3.16	四国少年院	8	8
127	手塚民部	S37.8.1	松本少年刑務所	S50.3.17	有明高原寮	12	7
128	小川雅史	S37.8.16	中野刑務所	S40.8.16	退職	3	0
129	畠中幸一	S37.9.1	筑紫少女苑	S51.10.7	逝去	14	1
130	所ユキ子	S37.9.17	採用	H5.4.1	退職	30	6
131	谷本慶治	S37.10.1	採用	S47.3.16	交野女子学院	9	5
132	丸山武志	S37.10.1	久里浜少年院	S57.4.1	横浜少年鑑別所	19	6
133	菱沼宏子	S37.10.10	採用	S39.7.22	退職	1	9
134	若林繁治	S38.2.1	採用	S53.1.11	久里浜少年院	14	11
135	亀田明	S38.2.1	栃木刑務所	S63.3.31	退職	25	2
136	及川清治	S38.3.1		S39.9.1	横浜少年鑑別所	1	6
137	杉山まさ子	S38.4.1	採用	S38.5.31	退職	0	2
138	岡野昭男	S38.5.1	湖南学院	S42.6.1	赤城少年院	4	1
139	水井孝之助	S38.5.10	多摩少年院	S39.7.16	浦和刑務所	1	2
140	芝田正一	S38.5.16		S42.5.29	赤城少年院	4	0
141	前浪子	S38.7.1	採用	S60.3.31	退職	21	9
142	勝田他喜男	S38.7.8	採用	S40.9.30	退職	2	2
143	長谷川弥生	S38.8.16	採用	S40.6.15	退職	1	10
144	加部康男	S38.12.5	中央矯正研修所	S49.4.1	退職	10	3
145	渡辺明美	S39.4.20	採用	S40.2.28	退職	0	10
146	水井四雄	S39.7.16	浦和刑務所	S53.1.11	久里浜少年院	13	5
147	山田圭文	S40.3.1	東京医療少年院	S45.3.16	水府学院	5	0
148	鈴木久	S40.4.16	採用	S52.7.16	愛光女子学園	12	3
149	星崎(杉崎)佳子	S40.6.10	採用	S46.12.9	退職	6	6

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
150	杉崎　美佐子	S40.6.10	採用	H3.3.31	退職	25	9
151	菅沼　順太郎	S40.8.1	採用	S41.6.18	逝去	0	10
152	木村　道夫	S40.8.28	採用	H8.3.31	退職	30	7
153	丸山　勇雄	S40.10.1	採用	S59.2.15	退職	18	4
154	中村　寛子	S40.11.16	採用	H4.3.31	退職	26	4
155	長谷川　久則	S41.1.1	採用	S52.3.25	関東医療少年院	11	2
156	小川　澄子	S41.2.8	採用	S46.2.28	退職	5	0
157	田中　允	S41.4.1	採用	S43.3.16	札幌刑務所	1	11
158	染谷　栄一	S41.4.1	採用	S45.3.16	久里浜少年院	3	11
159	速水　徹	S41.5.16	採用	S51.1.15	京都医療少年院	9	8
160	遠藤　義幸	S41.10.20	採用	H15.3.31	退職	36	5
161	青葉　紘宇	S42.4.1	採用	S44.3.25	東京拘置所	1	11
162	石田　竜夫	S42.6.1	採用	S56.4.1	横浜少年鑑別所	13	10
163	伊藤　信夫	S42.6.23	採用	S42.12.22	退職	0	6
164	岸中　健一	S42.7.25	採用	S43.3.16	東京少年鑑別所	0	7
165	菅野　悟	S42.9.1	東京拘置所	S57.4.1	横浜少年鑑別所	14	7
166	川崎　勝秀	S43.1.1	採用	S45.11.1	静岡刑務所	2	10
167	舟橋　文雄	S43.3.16	千葉星華学院	S51.4.1	退職	8	0
168	境　克彦	S43.3.16	多摩少年院	S45.3.16	法務総合研究所	2	0
169	清水　光美	S43.3.16	東京少年鑑別所	S48.3.31	喜連川少年院	5	0
170	山科　忠彦	S43.4.1	採用	S46.12.31	退職	3	9
171	清原　正雄	S43.5.25	採用	S49.3.20	富山少年学院	5	9
172	大野　隆弘	S43.5.25	採用	H15.3.31	退職	34	10
173	尾﨑　富平	S43.11.16	久里浜少年院	S49.4.1	退職	5	4
174	山田　重広	S44.3.25	久里浜少年院	S48.3.26	多摩少年院	4	0
175	金成　操	S45.3.16	茨城農芸学院	S62.3.31	退職	17	0
176	石嶋　彰雄	S45.3.16	久里浜少年院	S53.1.11	久里浜少年院	7	9
177	古森　純一	S45.3.25	採用	S50.3.17	岡山少年院	4	11
178	正好　浩	S45.4.1	採用	S46.10.31	退職	1	7
179	倉重　喜平	S45.4.1	採用	S45.12.31	退職	0	9
180	福井　憲生	S45.11.1	採用	S48.9.30	退職	2	11
181	粥川　邦彦	S46.2.20	採用	S50.3.17	瀬戸少年院	4	0
182	星野　利夫	S46.3.16	採用	S50.3.17	印旛少年院	4	0
183	吉田　維彦	S46.3.16	印旛少年院	S47.6.30	退職	1	3
184	石田　安佐美	S46.4.1	採用	H13.3.31	退職	30	0
185	井谷　正由	S46.4.25	採用	S50.1.25	山形少年鑑別所	3	9
186	西岡(渡辺)英子	S47.1.29	採用	S50.4.10	退職	3	2
187	山元　千幸	S47.2.12	採用	S51.3.16	小倉少年鑑別所	4	1

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
188	田上憲一	S47.2.21	採用	S53.1.11	久里浜少年院	5	10
189	森藤慶蔵	S47.3.16	東京少年鑑別所	S51.4.1	退職	4	0
190	赤田正志	S48.3.26	多摩少年院	S50.3.17	新潟少年学院	1	11
191	石井国一	S48.7.1		S50.3.17	久里浜少年院	1	8
192	中根治則	S49.2.25	採用	S49.3.31	退職	0	1
193	白井章雄	S49.3.20	富山少年学院	S50.3.17	神奈川少年院	0	11
194	永井勉	S49.3.20	神奈川少年院	H5.3.31	退職	19	0
195	尾山洋一	S49.4.1	採用	S53.1.11	久里浜少年院	3	9
196	小平礼二	S50.3.17	久里浜少年院	S59.4.1	退職	9	0
197	内城貴兄	S50.3.17	多摩少年院	S52.3.22	赤城少年院	2	0
198	佐藤鋳一	S50.3.17	新潟少年学院	S53.1.11	久里浜少年院	2	9
199	奥田(佐藤)ヨシミ	S50.3.17	千葉星華学院	S52.8.31	退職	2	5
200	奥田健吉	S50.3.17	神奈川少年院	S52.9.1	多摩少年院	2	5
201	佐藤謙一郎	S50.3.17	東京医療少年院	S53.1.11	久里浜少年院	2	9
202	野々村久男	S50.4.1	印旛少年院	S60.4.1	逝去	10	0
203	吉田福栄	S50.4.21	採用	H13.3.31	退職	25	11
204	本多有海	S51.3.16	千葉星華学院	S56.4.1	退職	5	0
205	中村正雄	S51.3.16	市原刑務所	S53.1.11	久里浜少年院	1	9
206	内野修	S51.3.16	有明高原寮	S52.2.22	神奈川少年院	0	11
207	木暮武男	S52.3.22	喜連川少年院	S53.1.11	久里浜少年院	0	9
208	志村誠一	S53.2.17	神奈川少年院	S57.4.1	多摩少年院	4	1
209	木島衛	S53.2.17	神奈川少年院	S56.4.1	退職	3	1
210	牧野充宏	S53.2.17	神奈川少年院	H1.4.1	新潟少年学院	11	1
211	野口孝雄	S53.2.17	神奈川少年院	S63.4.1	市原学園	10	1
212	程田健太郎	S53.2.17	神奈川少年院	H2.4.1	水府学院	12	1
213	松本哲	S53.2.17	神奈川少年院	S56.3.23	多摩少年院	3	1
214	金子〆	S53.2.17	神奈川少年院	S57.3.16	八街少年院	4	1
215	山田徳十郎	S53.2.17	神奈川少年院	S59.4.1	愛光女子学園	6	1
216	熊坂英男	S53.2.17	神奈川少年院	S62.4.1	神奈川医療少年院	9	1
217	門倉光治	S53.2.17	神奈川少年院	H2.4.1	多摩少年院	12	1
218	窪順二	S53.2.17	神奈川少年院	S56.4.1	人吉農芸学院	3	1
219	徳永慶志	S53.2.17	神奈川少年院	S58.4.1	松山少年院	5	1
220	白井雄策	S53.2.17	神奈川少年院	S55.9.1	八街少年院	2	6
221	小林隆	S53.2.17	神奈川少年院	S58.4.1	東京婦人補導院	5	1
222	佐藤強	S53.2.17	神奈川少年院	S60.3.22	八街少年院	7	1
223	田中隆宣	S53.2.17	神奈川少年院	S59.4.1	八街少年院	6	1
224	守屋俊夫	S53.2.17	神奈川少年院	S59.10.1	茨城農芸学院	6	7
225	井上昭夫	S53.2.17	神奈川少年院	S54.6.1	多摩少年院	1	3

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
226	遠藤勝恵	S53.2.17	神奈川少年院	S55.4.1	山口大学出向	2	1
227	平田寿男	S53.2.17	神奈川少年院	S55.4.1	多摩少年院	2	1
228	勝田成雄	S53.2.17	神奈川少年院	S62.3.31	退職	9	1
229	望月定紀	S53.4.1	神奈川少年院	H2.4.1	多摩少年院	12	0
230	朝比奈利夫	S55.4.1	静岡少年院	H1.3.31	退職	9	0
231	柳下明	S55.5.10	採用	S60.3.22	静岡少年院	4	10
232	丹野孝	S55.9.1	東京少年鑑別所	S62.4.1	静岡少年鑑別所	6	7
233	大村勢一	S56.3.23	新潟少年学院	S60.4.1	静岡少年院	4	0
234	水井四雄	S56.4.1	久里浜少年院	H10.4.1	退職	17	0
235	白浜久	S56.4.1	採用	S58.3.31	退職	2	0
236	石本工	S56.4.1	採用	S61.4.1	水府学院	5	0
237	桂秀光	S56.4.1	採用	S56.4.3	退職	0	0
238	小井戸義雄	S56.7.1	中野刑務所	S60.4.1	市原学園	3	9
239	皆塚和昭	S57.4.1	喜連川少年院	S61.4.1	東京婦人補導院	4	0
240	児玉繁夫	S57.4.1	函館少年鑑別所	S58.4.1	八街少年院	1	0
241	桑名栄一	S57.4.1	採用	H11.4.1	横浜少年鑑別所	17	0
242	鈴木久	S57.4.1	愛光女子学園	H15.3.31	退職-再任用	21	0
243	遠藤順一	S57.7.12	採用	H10.4.1	福島少年鑑別所	15	8
244	赤坂英昭	S57.8.1	採用	S60.4.30	退職	2	9
245	加治木一郎	S58.4.1	茨城農芸学院	S63.4.1	静岡少年院	5	0
246	滝沢章夫	S58.4.1	採用	S60.3.31	退職	2	0
247	荻原泉	S58.4.1	採用	H12.4.1	横浜少年鑑別所	17	0
248	高田守康	S59.4.1	有明高原寮	H9.3.24	有明高原寮	12	11
249	高取豊	S59.4.1	採用	S61.4.6	逝去	2	0
250	中島俊也	S59.4.1	採用	H24.4.1	駿府学園	28	0
251	下條哲哉	S59.10.15	採用	H20.4.1	神奈川医療少年院	23	5
252	川畑行雄	S60.4.1	採用	S60.12.31	退職	0	9
253	鈴木清貴	S60.4.1	採用	H3.3.31	外務省出向	6	0
254	青木猛	S60.4.1	採用	H1.4.1	八王子医療刑務所	4	0
255	露木日出夫	S60.4.1	採用	H20.3.31	退職	23	0
256	小松光男	S60.4.1	赤城少年院	H27.3.31	退職	30	0
257	石倉茂	S60.4.1	東京拘置所	H28.3.31	退職	31	0
258	真智好晴	S60.4.1	採用	H6.4.1	駿府学園	9	0
259	竹内努	S60.9.15	採用	H2.12.31	退職	5	3
260	市川ミサ子	S61.1.1	採用	H9.4.1	横浜少年鑑別所	11	3
261	宮下公司	S61.4.1	新潟少年鑑別所	S62.3.31	退職	1	0
262	大河内徹	S61.4.1	東京保護観察所	S63.3.22	宇都宮少年鑑別所	1	11
263	山田耕介	S61.4.1	採用	H2.4.1	有明高原寮	4	0

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
264	鍵和田　敦	S61.9.1	採用	H28.4.1	神奈川医療少年院	29	7
265	辻　和雄	S62.3.16	採用	H24.9.1	神奈川医療少年院	25	5
266	仲間正夫	S62.4.1	大臣官房営繕課	H9.3.31	退職	10	0
267	佐藤　均	S62.4.1	多摩少年院	H3.4.1	八街少年院	4	0
268	池田　学	S62.4.1	採用	H3.3.31	退職	4	0
269	清水道徳	S63.4.1	採用		現職	30	0
270	斎田　浩	S63.4.1	採用	H3.4.1	大臣官房秘書課	3	0
271	丸山武志	H1.4.1	横浜少年鑑別所	H3.3.31	退職	2	0
272	高橋勇夫	H1.4.1	採用	H1.12.20	退職	0	8
273	遠藤賢一	H1.4.1	採用		現職	29	0
274	古澤俊一	H1.4.1	採用	H26.4.1	神奈川医療少年院	25	0
275	岩城正直	H1.12.26	採用	H15.4.1	人吉農芸学院	13	3
276	柴田　繁	H2.4.1	矯正研修所	H6.4.1	横浜少年鑑別所	4	0
277	杉山良治	H2.4.1	採用	H7.9.1	多摩少年院	5	5
278	岡田智久	H2.4.1	採用	H18.4.1	川越少年刑務所	16	0
279	金子　岳	H3.1.1	採用	H9.3.1	外務省出向	6	2
280	青木　猛	H3.4.1	八王子医療刑務所	H20.4.1	久里浜少年院	17	0
281	山添聖可	H3.4.1	採用	H8.4.1	東京少年鑑別所	5	0
282	加藤真司	H3.4.1	採用	H7.3.31	退職	4	0
283	田中一彦	H3.4.1	採用	H6.3.31	退職	3	0
284	曽根和佳	H4.4.1	採用	H27.4.1	横浜少年鑑別所	23	0
285	大村晶子	H5.4.1	採用	H9.3.31	退職	4	0
286	鈴木清貴	H5.4.1	外務省出向	H18.4.1	横浜少年鑑別所	13	0
287	寺田　孝	H5.4.1	採用	H19.4.1	府中刑務所	14	0
288	木村和豊	H6.3.1	採用	H23.4.1	多摩少年院	17	1
289	菅野　悟	H6.4.1	横浜少年鑑別所	H15.3.31	退職	9	0
290	平川勝朗	H7.4.1	採用	H11.3.31	退職	4	0
291	河端義邦	H7.9.1	採用	H16.4.1	神奈川医療少年院	8	7
292	牧野　貴	H8.1.1	採用	H26.4.1	神奈川医療少年院	18	3
293	大野嘉一	H8.4.1	静岡少年鑑別所	H12.4.1	神奈川医療少年院	4	0
294	鈴木高弘	H9.4.1	採用		現職	21	0
295	福田耕太郎	H9.4.1	喜連川少年院	H13.4.1	東京少年鑑別所	4	0
296	鷲山英之	H9.4.1	駿府学園	H14.4.1	駿府学園	5	0
297	須藤基匡	H9.4.1	採用	H12.9.30	退職	3	6
298	知念奈美恵	H9.4.1	採用	H13.12.31	退職	4	9
299	岡田　稔	H10.3.23	横浜少年鑑別所	H14.4.1	退職	4	0
300	宇佐美公彦	H10.4.1	川越少年刑務所	H21.12.31	退職	11	9
301	小林敦至	H10.4.1	採用	H19.4.1	静岡少年鑑別所	9	0

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
302	長村和彦	H10.4.1	横浜少年鑑別所	H23.4.1	静岡少年鑑別所	13	0
303	清野誠行	H11.4.1	採用	H21.4.1	神奈川医療少年院	10	0
304	矢次伸行	H11.4.1	採用	H16.4.1	大分少年院	5	0
305	合田直之	H12.4.1	外務省出向	H16.4.1	東京矯正管区	4	0
306	山下晋一郎	H12.11.1	採用	H25.4.1	横浜刑務所	12	5
307	奥田喜也	H13.4.1	関東医療少年院	H19.4.1	北海少年院	6	0
308	佐野亜紀子	H13.4.1	採用	H16.3.31	愛光女子学園	3	0
309	中村智則	H13.4.1	採用	H24.4.1	多摩少年院	11	0
310	渡邊文博	H14.2.1	福岡少年院	H18.4.1	東京少年鑑別所	4	2
311	真殿陽一郎	H14.4.1	東京矯正管区	H22.1.1	久里浜少年院	7	9
312	今井真	H14.4.1	採用	H20.4.1	東京矯正管区	6	0
313	杉山誠一郎	H15.4.1	採用	H21.4.1	横浜保護観察所	6	0
314	永井貞行	H15.4.1	駿府学園		現職	15	0
315	高取智昭	H15.4.1	採用	H21.4.1	東北少年院	6	0
316	太田正仁	H15.4.1	採用	H26.4.1	横浜少年鑑別所	11	0
317	桑名栄一	H16.4.1	横浜少年鑑別所		現職	14	0
318	樋口諭	H16.4.1	採用		現職	14	0
319	大園雄介	H16.4.1	採用	H22.4.1	久里浜少年院	6	0
320	広瀬卓也	H16.4.1	採用	H19.5.16	静岡少年鑑別所	3	1
321	鈴木亮央	H16.11.1	採用		現職	13	5
322	松﨑宏宣	H18.4.1	宮川医療少年院	H30.1.31	退職	11	10
323	東敏之	H18.4.1	採用	H22.4.1	八王子医療刑務所	4	0
324	岡田訓行	H18.4.1	採用	H25.4.1	広島少年院	7	0
325	大須賀秀一	H19.4.1	横浜少年鑑別所		現職	11	0
326	土田博之	H19.4.1	横浜少年鑑別所	H21.4.1	横浜刑務所	2	0
327	橋本邦夫	H19.4.1	神奈川医療少年院	H24.4.1	神奈川医療少年院	5	0
328	橘正宗	H19.5.16	静岡少年鑑別所	H25.4.1	静岡刑務所	5	10
329	富岡学	H20.4.1	採用		現職	10	0
330	角津敏	H20.4.1	函館少年鑑別所		現職	10	0
331	上田智彦	H20.4.1	採用	H22.3.31	退職	2	0
332	田邉良知	H20.4.1	前橋刑務所	H22.4.1	矯正研修所	2	0
333	向佐良平	H20.11.16	採用		現職	9	4
334	青木一如	H21.4.1	関東医療少年院		現職	9	0
335	新井洋行	H21.4.1	採用	H22.3.31	退職	1	0
336	廣戸芳宣	H21.4.1	採用	H30.4.1	府中刑務所	9	0
337	佐藤次男	H21.4.1	久里浜少年院	H29.4.1	横浜刑務所横須賀刑務支所	8	0
338	池田隼也	H22.2.1	採用		現職	8	2

番号	氏名	着任日	前任庁等	離任日	赴任庁等	年数	月数
339	古藤勝功	H22.4.1	久里浜少年院	H26.4.1	市原学園	4	0
340	鈴木拓也	H22.4.1	採用		現職	8	0
341	栗原啓輔	H22.4.1	採用		現職	8	0
342	中村将夫	H22.4.1	採用	H22.6.30	退職	0	3
343	後藤善宏	H22.4.1	赤城少年院	H24.4.1	市原学園	2	0
344	沖川陽輔	H22.7.1	採用		現職	7	9
345	津田航	H22.11.1	採用	H24.4.1	多摩少年院	1	5
346	有江崇迪	H23.4.1	採用		現職	7	0
347	清水啓	H23.4.1	採用		現職(自己啓発休業)	7	0
348	東敏之	H24.3.16	八王子医療刑務所		現職	6	0
349	熊谷聡史	H24.4.1	採用		現職	6	0
350	大森祥弘	H24.4.1	神奈川医療少年院	H27.4.1	神奈川医療少年院	3	0
351	保坂英彦	H24.4.1	駿府学園	H30.4.1	駿府学園	6	0
352	金子貴章	H24.4.1	採用	H24.9.30	退職	0	6
353	古山淳也	H24.11.1	採用	H24.11.30	退職	0	1
354	吉弘聡憲	H25.2.1	採用	H29.4.1	静岡刑務所	4	2
355	町井久泰	H25.3.25	採用		現職	5	0
356	山木慎也	H25.4.1	採用	H29.4.1	官房会計課	4	0
357	宮川三佳	H25.4.1	採用	H26.3.20	長野少年鑑別所	0	11
358	福田圭一	H26.4.1	神奈川医療少年院		現職	4	0
359	濱田忠明	H26.4.1	神奈川医療少年院	H30.3.31	退職-再任用	4	0
360	清水基成	H26.4.1	横浜少年鑑別所		現職	4	0
361	小川雅人	H26.4.1	採用		現職	4	0
362	久保寺佑	H26.4.1	採用	H28.3.31	退職	2	0
363	下條哲哉	H27.4.1	神奈川医療少年院		現職	3	0
364	井上善晴	H27.4.1	和泉学園		現職	3	0
365	大井浩一郎	H27.4.1	久里浜少年院		現職	3	0
366	山崎晃央	H28.4.1	駿府学園		現職	2	0
367	山崎将隆	H28.4.1	採用		現職	2	0
368	小杉仁志	H28.4.1	久里浜少年院		現職	2	0
369	中野拓也	H28.4.1	採用	H28.4.8	退職	0	0
370	栗谷川大	H28.5.1	網走刑務所		現職	1	11
371	松永哲司	H29.4.1	横浜刑務所		現職	1	0
372	池之上大輔	H29.4.1	採用		現職	1	0
373	坂口祐一	H29.4.1	奈良少年院		現職	1	0
374	藤田和男	H30.4.1	八街少年院		現職	0	0

現職者紹介

院長

齊藤美紀雄

次長

岡部英洋

庶務課

庶務課長

古澤俊一

庶務課長補佐

鈴木清登

庶務係長

鈴木高弘

庶務係

福田圭一

会計係長

富岡　学

会計係

栗谷川大

用度係長

青木一如

用度係

桑名栄一

沖川陽輔

有江崇迪

医務課

医務課長

大滝光生

医務係

東　敏之

※平成 30 年 4 月 1 日組織図に基づく

平成30年4月1日　土木建築科実習場内に咲く桜　かつてはもう一本あったが平成23年台風15号により倒れた。

教育・支援部門

首席専門官

尾崎健児

企画統括

松村　暢

調査･支援統括

木村　勉

教務統括

澤田　豊

保安主任

下條哲哉

体レク主任

小杉仁志

生活指導主任

樋口　諭

職業指導主任

遠藤賢一

調査･支援主任

清水基成

調査･支援係

松永哲司

藤田和男

第一学寮主任

大井浩一郎

副主任

栗原啓輔

担任

山崎晃央

池田隼也

町井久泰

山崎将隆

第二学寮主任

鈴木亮央

副主任

鈴木拓也

担任

角津　敏

小川雅人

熊谷聡史

坂口祐一

第三学寮主任

永井貞行

副主任

清水道徳

担任

向佐良平

洗心寮主任

濱田忠明

担任

大須賀秀一

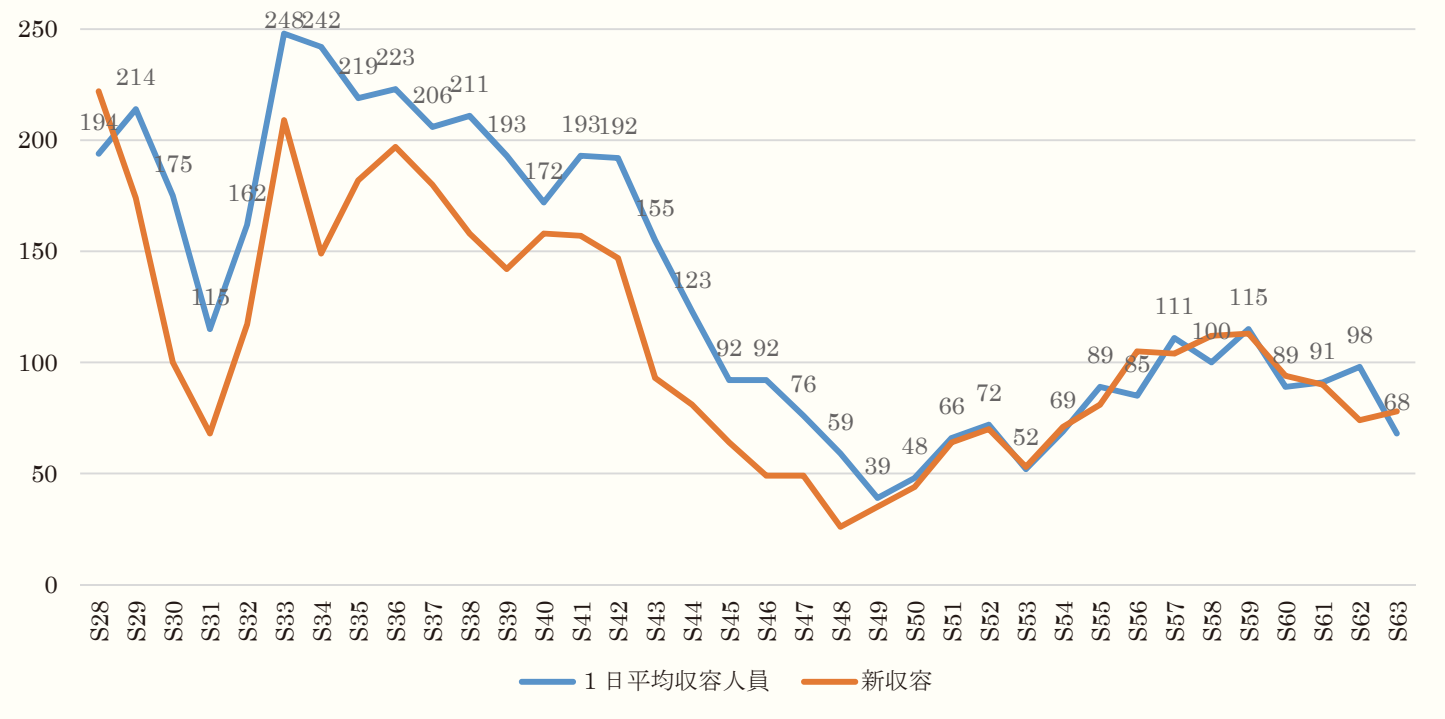
井上善晴

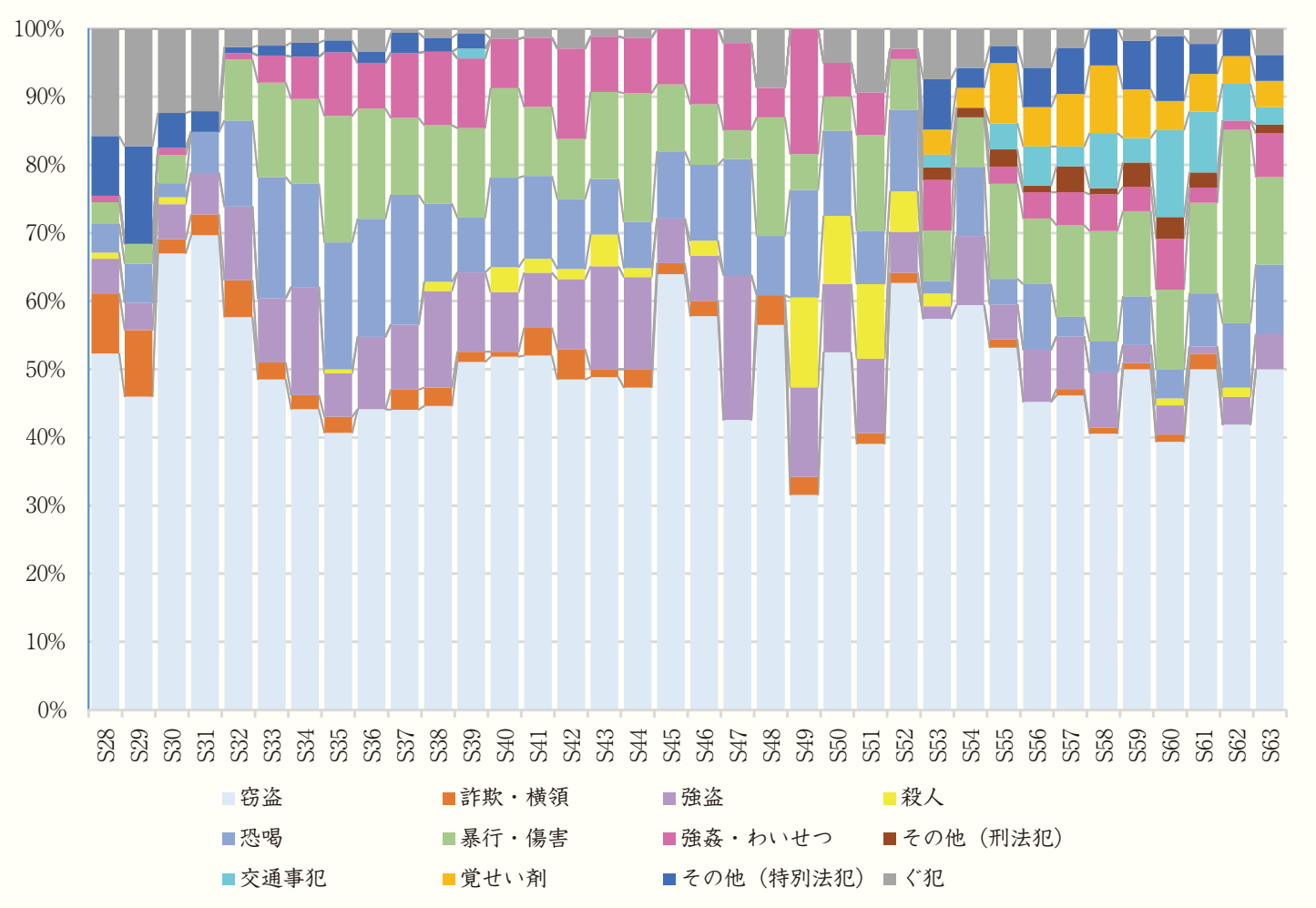
池之上大輔

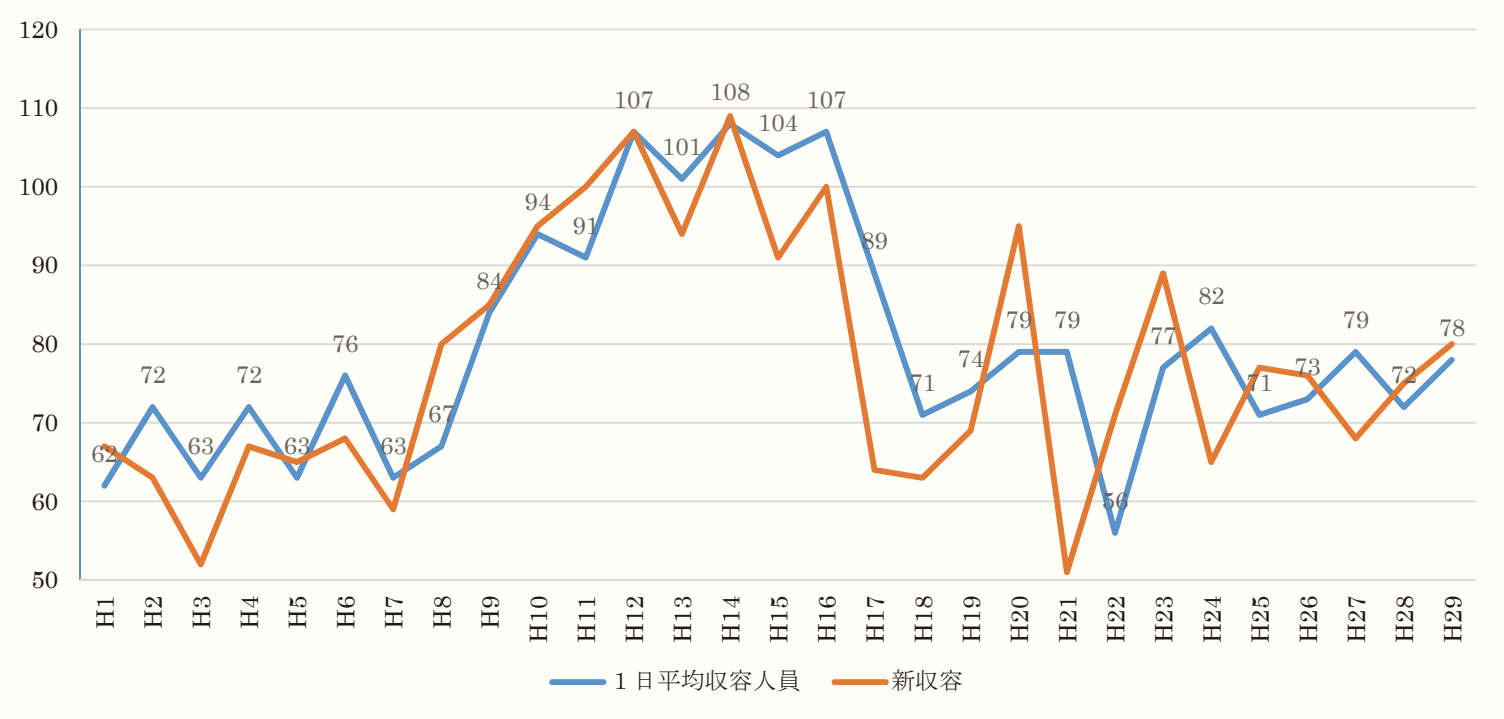
自己啓発休業

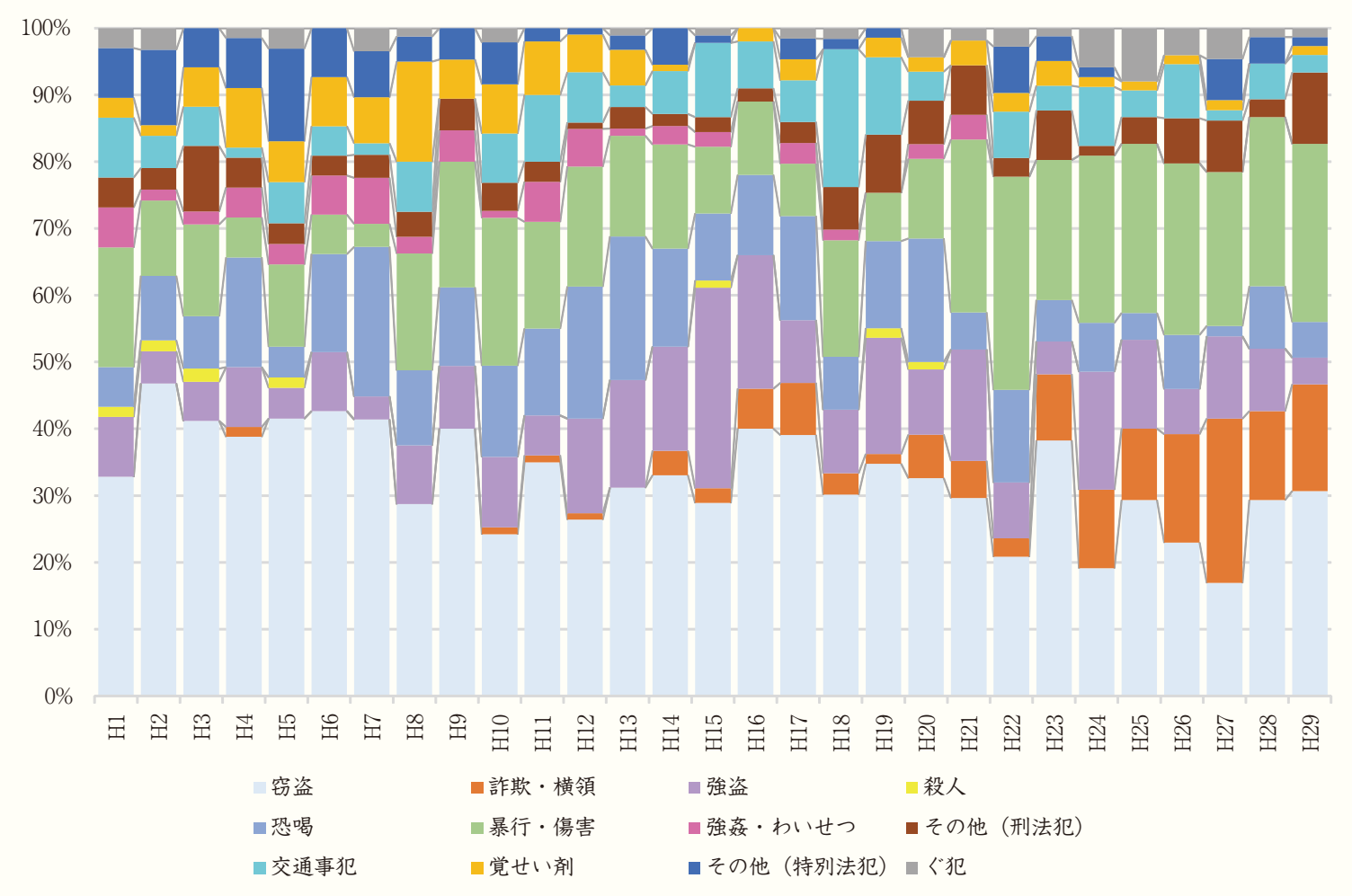
清水　啓

収 容 統 計


250
200
150
100
50
0
194 214 175 115 162 248 242 219 223 206 211 193 172 193 192 155 123 92 92 76 59 39 48 66 72 52 69 89 85 111 100 115 89 91 98 68
S28 S29 S30 S31 S32 S33 S34 S35 S36 S37 S38 S39 S40 S41 S42 S43 S44 S45 S46 S47 S48 S49 S50 S51 S52 S53 S54 S55 S56 S57 S58 S59 S60 S61 S62 S63
1日平均収容人員
新収容


100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
S28 S29 S30 S31 S32 S33 S34 S35 S36 S37 S38 S39 S40 S41 S42 S43 S44 S45 S46 S47 S48 S49 S50 S51 S52 S53 S54 S55 S56 S57 S58 S59 S60 S61 S62 S63
窃盗
詐欺・横領
強盗
殺人
恐喝
暴行・傷害
強姦・わいせつ
その他（刑法犯）
交通事犯
覚せい剤
その他（特別法犯）
ぐ犯


120
110
100
90
80
70
60
50
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29
1日平均収容人員
新収容


100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29
窃盗
詐欺・横領
強盗
殺人
恐喝
暴行・傷害
強姦・わいせつ
その他（刑法犯）
交通事犯
覚せい剤
その他（特別法犯）
ぐ犯

編集後記

今回、廃庁の記念誌を取りまとめるに当たり、小田原少年院の 67 年という長い歴史とその受け継がれてきた精神をどのように誌面に表していくのかが最大の課題でありました。

幸いにして小田原少年院には、これまで発刊された三つの記念誌があり、7,000 枚を超える膨大な写真と資料を読み解く上での松明でありました。

・「小田原少年院誌」（昭和 45 年 8 月 20 日小田原少年院相友会発行）
・「小田原少年院史」（平成 3 年 3 月 15 日小田原少年院発行）
・「湘風～小田原少年院史～」（平成 14 年 5 月 1 日小田原少年院発行）

開設から廃庁までの雰囲気をどこまで表現できたか甚だ心もとないですが、小田原少年院に関わってくださったすべての方々に心から感謝を申し上げ、記念誌の幕を閉じたいと思います。

編集委員

岡部　英洋					
澤田　　豊	鈴木　清登	青木　一如	東　　敏之	池田　隼也	遠藤　賢一
沖川　陽輔	清水　道徳	下條　哲哉	鈴木　高弘	鈴木　拓也	富岡　　学
永井　貞行	向佐　良平	熊谷　聡史	福田　圭一		

平成22年11月　樹齢350年を超えるといわれる大銀杏（平成24年に枝を払う前の姿）

小田原少年院史　光の路
発　　行　平成 30 年 11 月 15 日
発 行 者　齊藤　美紀雄
発 行 所　小田原少年院
印刷製本　有限会社エーアンドエヌ

表門　大正 14 年建築　永らくアーチのランプは切れていたが，平成 27 年に再点灯した。